



次々と襲い掛かる
淫らな男…！

初めての衝撃に翻弄される
天才退魔士少女…！

退魔士 カグヤ

DEVIL EXECUTIONER KAGUYA

退魔士
カグヤ

DEVIL EXECUTIONER KAGUYA



キャラクター紹介

川澄カグヤ

妖魔討伐を専門とする
フリーの退魔士。

高い霊力—

優れた身体能力—

数多くの実戦経験—

「退魔士」としての

すべてを兼ね備えていた天才少女

退魔士として 戦闘の経験は豊富だが
男性関係の経験のほうはほとんど無い。





仁科メル

退魔士協会所属の退魔士。
カグヤのサポート役として派遣された。
川澄カグヤの後輩でかつてはカグヤと
一緒に修行したこともある。
明るい性格の持ち主だが
すこしレズっ気もあり
意地悪な側面も。



ケーシャ

軍の特殊部隊出身の退魔士。
冷静沈着かつ真面目な性格で
いつも淡々と任務をこなす。
霊力は退魔士としては並だが
身体能力だけならカグヤよりも高い。

「妖魔」――

人間の理解を超える
異常な力をもつ存在

それは
この現代社会にも
潜んでいる…

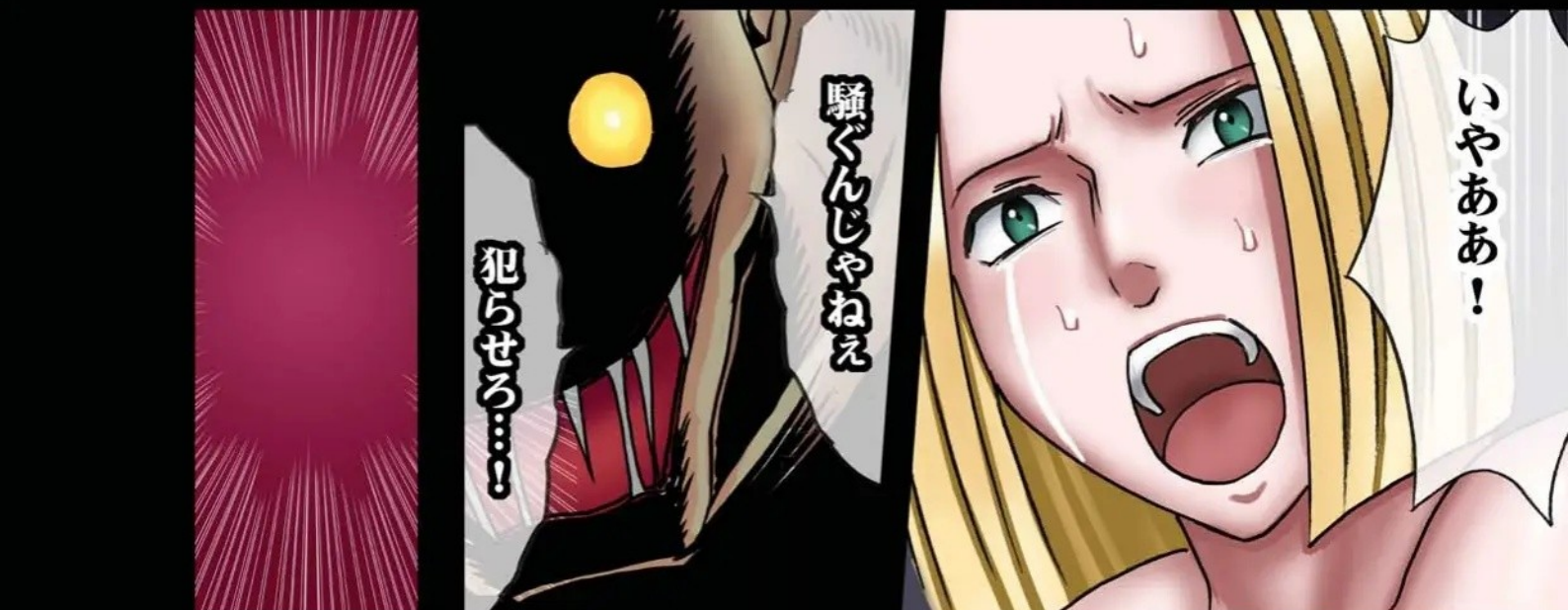
やつ！

いやつ…！！
何なの…！！



ククク...

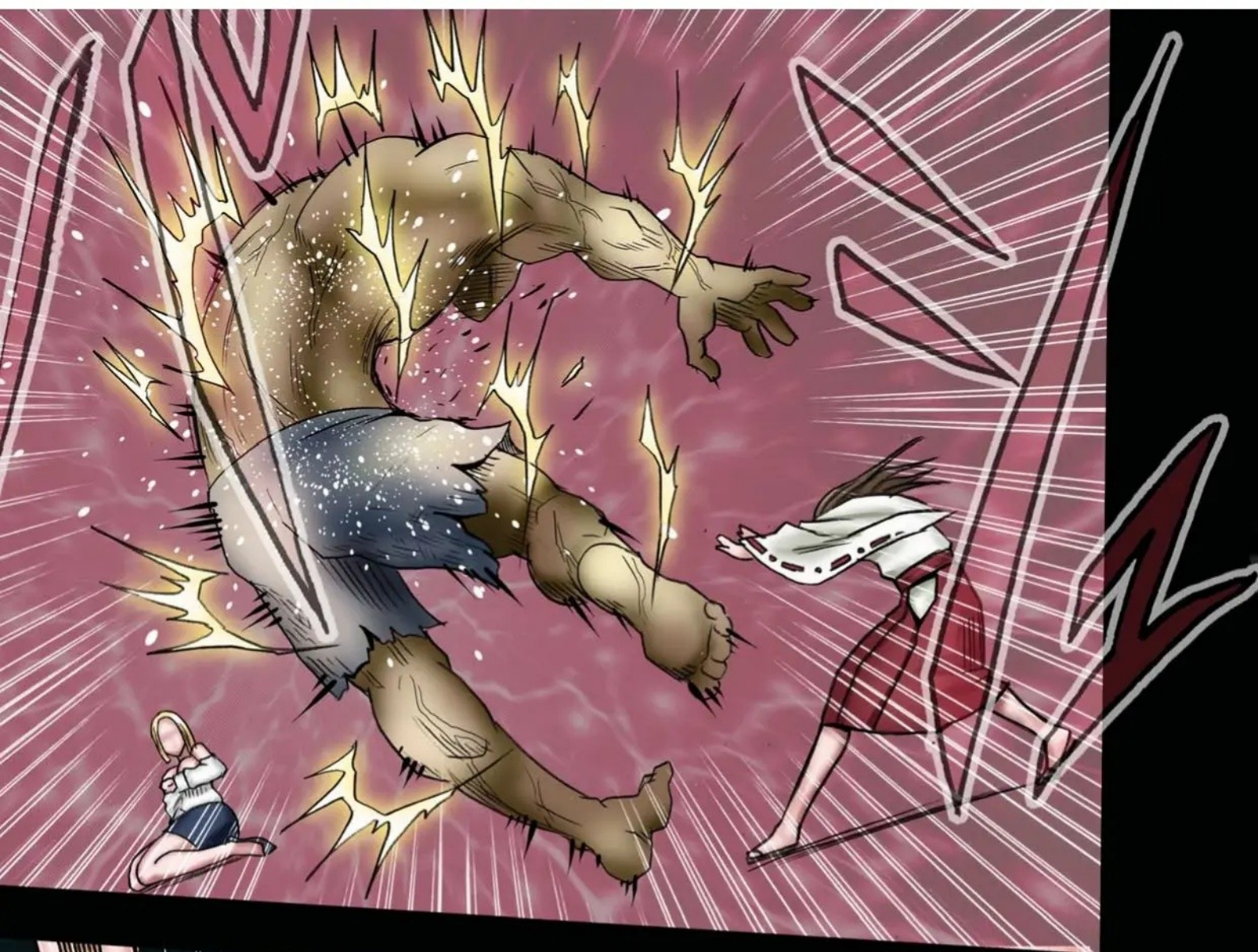
もう観念しろよ



騒ぐんじゃねえ

犯らせろ...

いやああ!



やっちやつて
くださーい
カグヤ先輩！



グハッ...

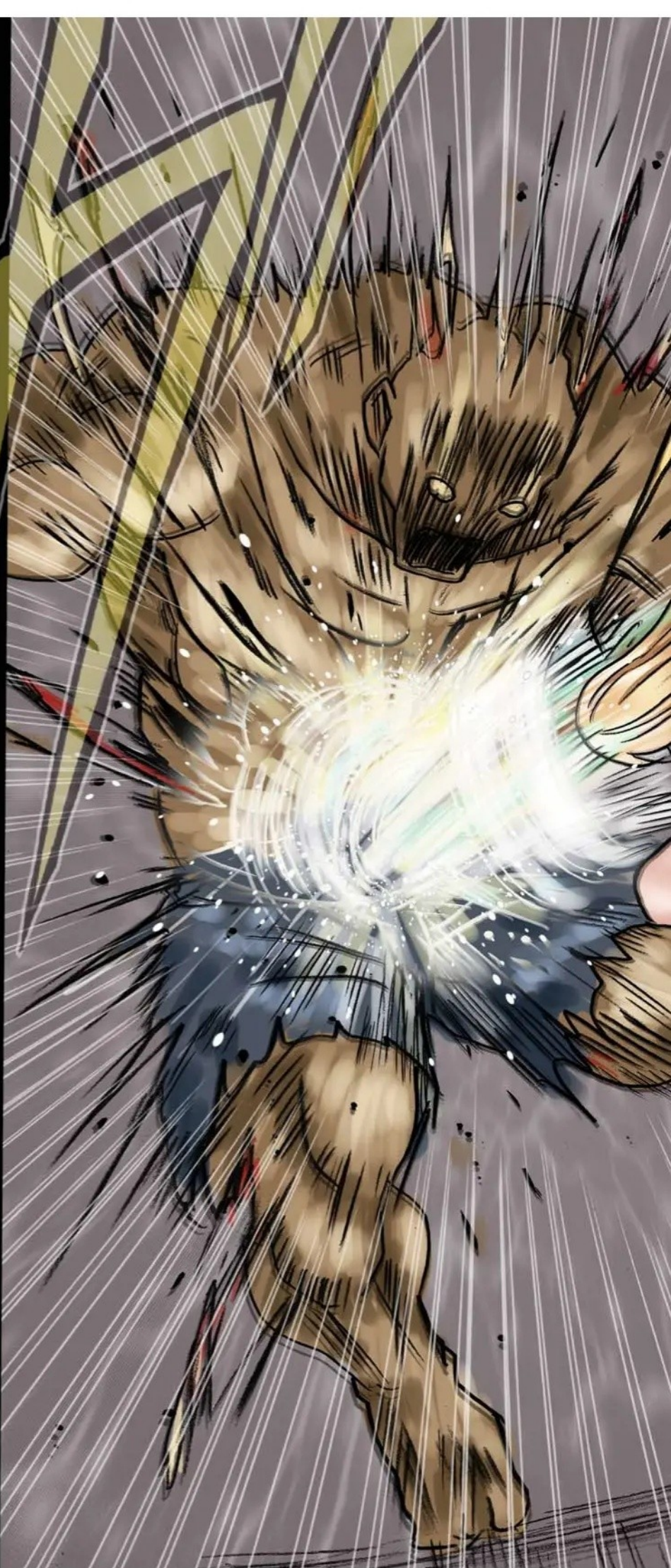
ナ...ナンド...？

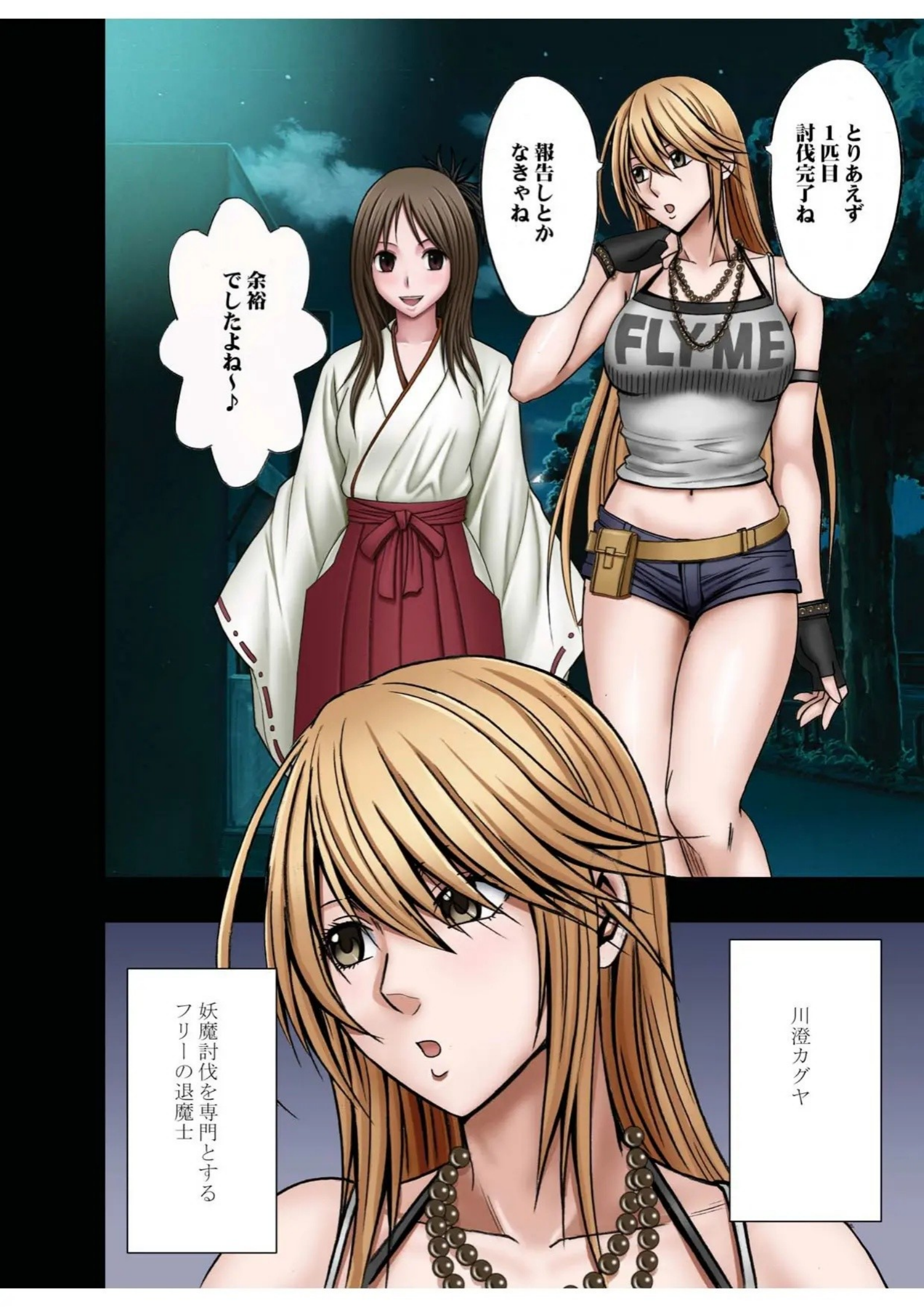
ゴウゴウ

陽魂衝！



はぁあッ!!





とりあえず
1匹目
討伐完了ね

報告しとか
なきゃね

余裕
でしたよね♪

川澄カグヤ

妖魔討伐を専門とする
フリーの退魔士

ここ加羅石町で
多くの妖魔が
目撃されているとの
情報を受けて

いやゝさすが
カグヤ先輩

久しぶりに
見ましたけど
相変わらず
すごい霊力ですね

やっぱ
先輩が一緒だと
心強いですね

後輩の仁科メルと共に
その駆除にやってきた

高い霊力―
優れた身体能力―
数多くの実戦経験―

今回の依頼は
アッサリ終わり
そうですね♪

そうね

さつさと
終わらせましょ

「退魔士」としての
すべてを兼ね備えていた
天才少女 川澄カグヤは

今回の依頼も
いつものように簡単に
終わらせた
つもりだった

しかし
この加羅石町での
戦いで

彼女は
思い知らされる
ことになる

三ツツ

「退魔士」として
ではなく

久しぶりに会えたけれど
やっぱり
カラダのほっぺをさすのねー

ちよつ：ちよつこ
そんなに寄らないでよ

「女」としての弱さを



退魔士カグヤ

第1話

「戸惑う

処女退魔士」

加羅石公園

うーん
妖魔見つか
りませんね

私のレーダーの感じだと
このヘンにいます
思うんですけどね

そうね:
大きな公園って
妖魔が棲みつき
やすいしね

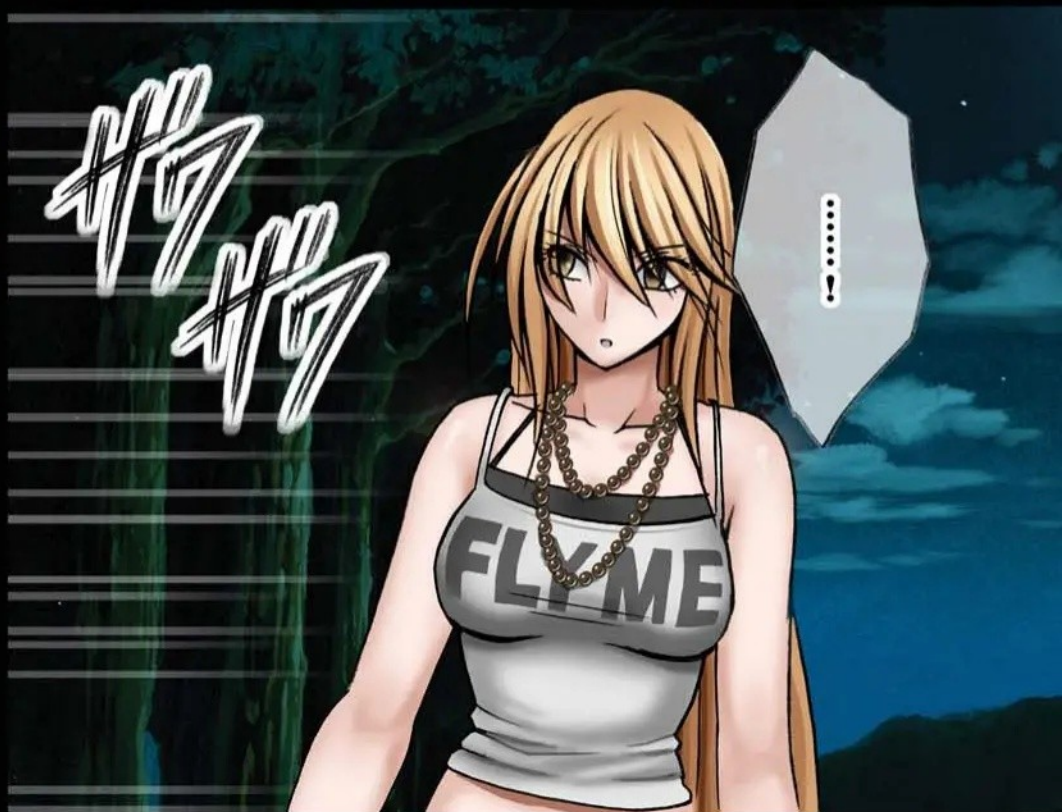
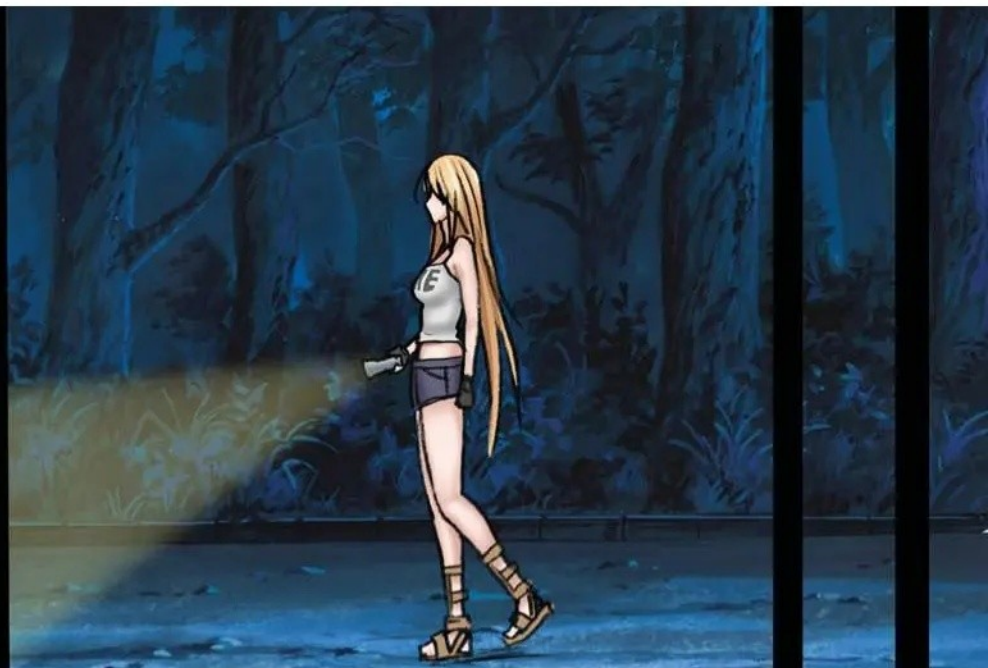
私もさつきから
何か妖気は
感じてるわ

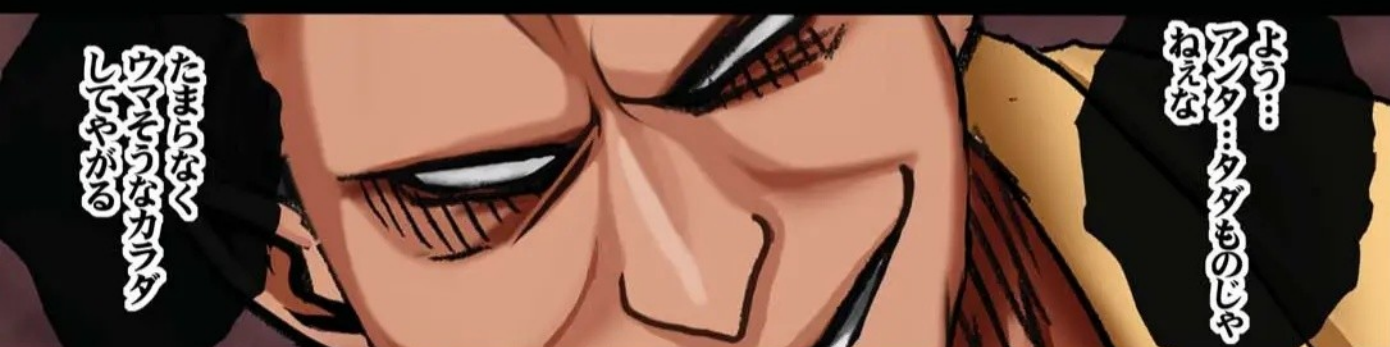
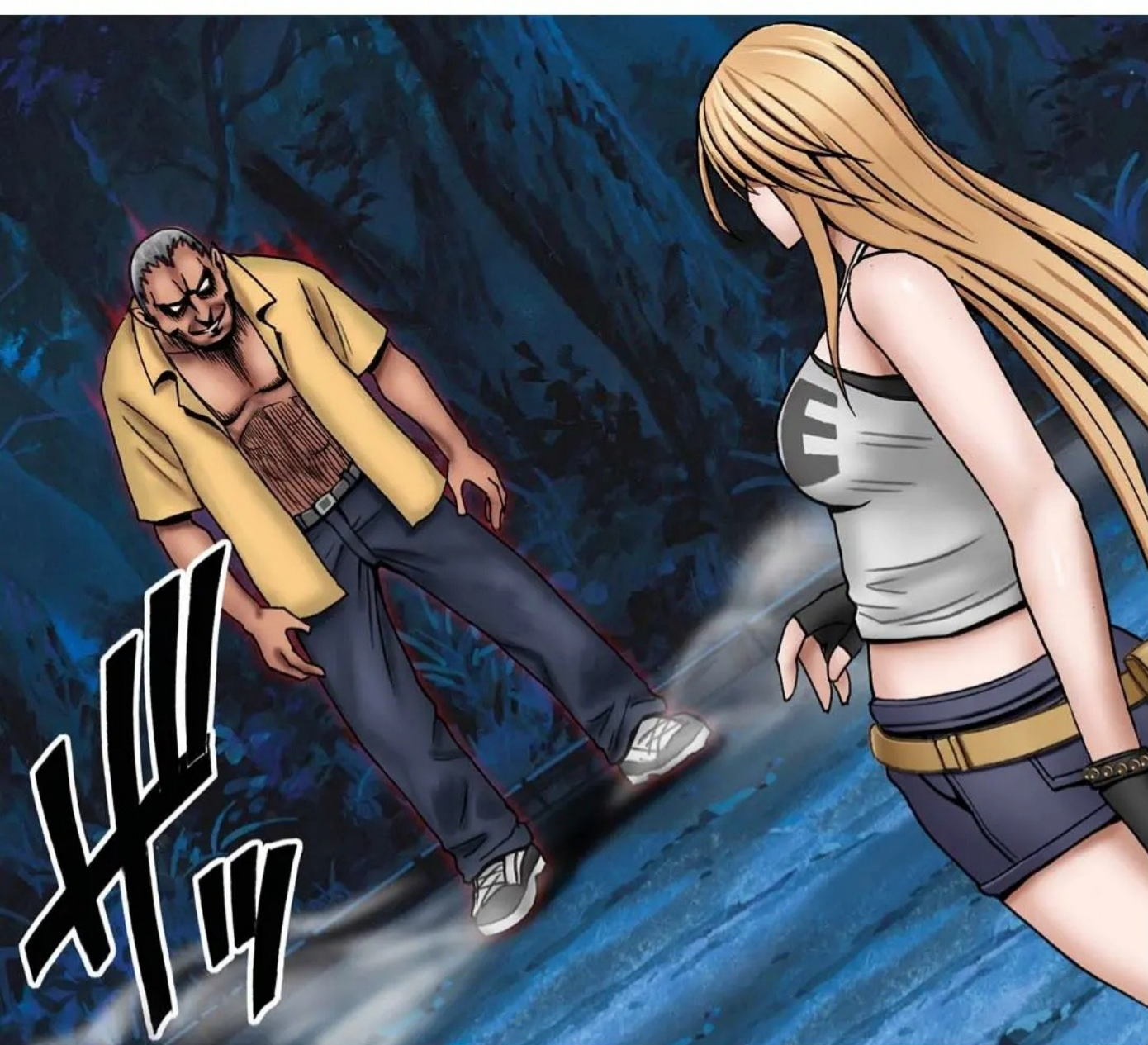
確かにこのあたりは
何かいそうね

じゃあ
ちよつと先輩は
あつちのほうを
探索してみてください

私はこっちを
見てきますんで

分かったわ





よう！
アタタタものじゃ
ねえな

たまらなく
ウマそうなかラダ
してやがる



いせーん...

それほど
強さを感じないし



ふんふん...?

メルと合流して
確実に対処するか...



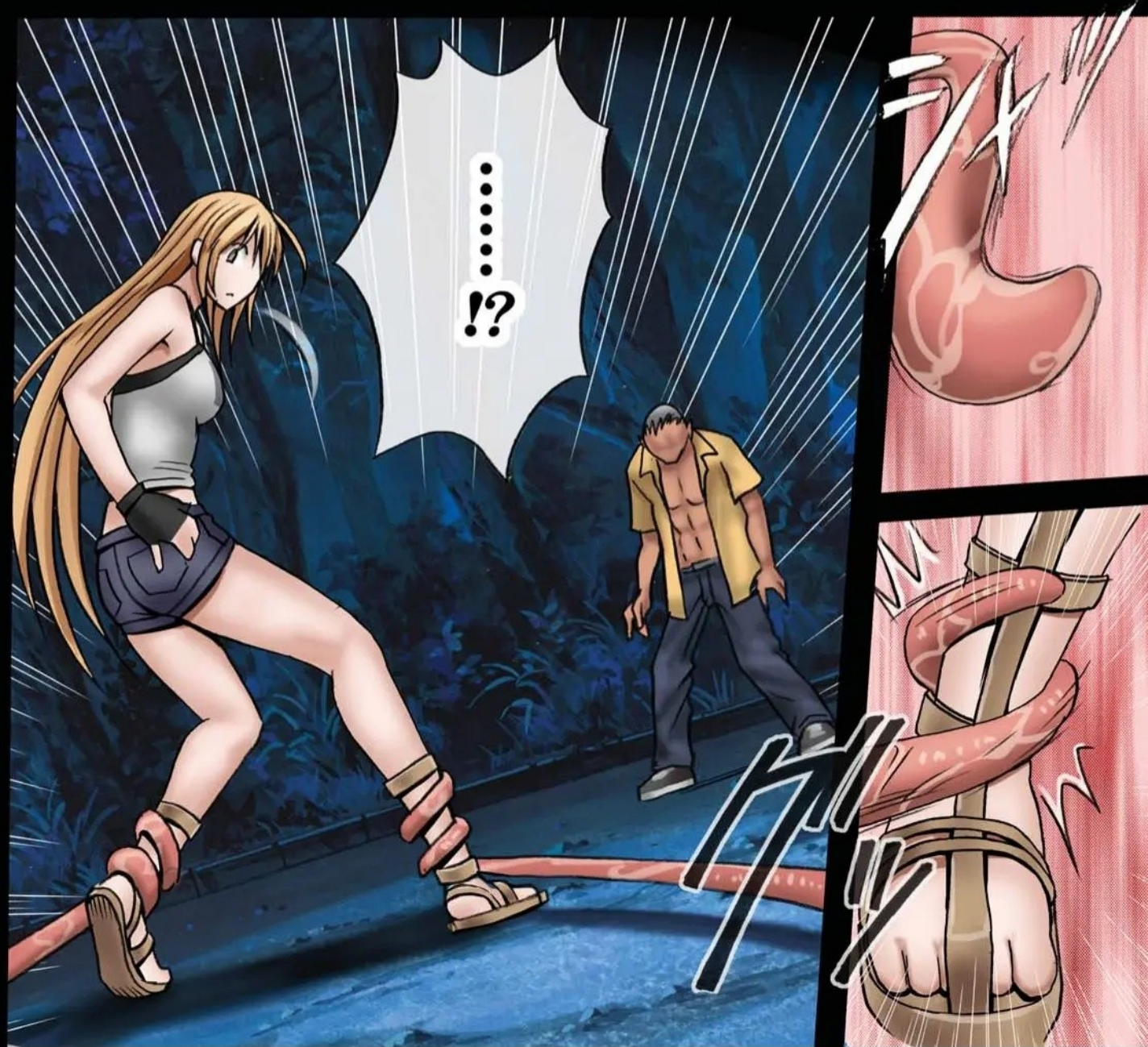
これは間違いない...!!

妖魔...



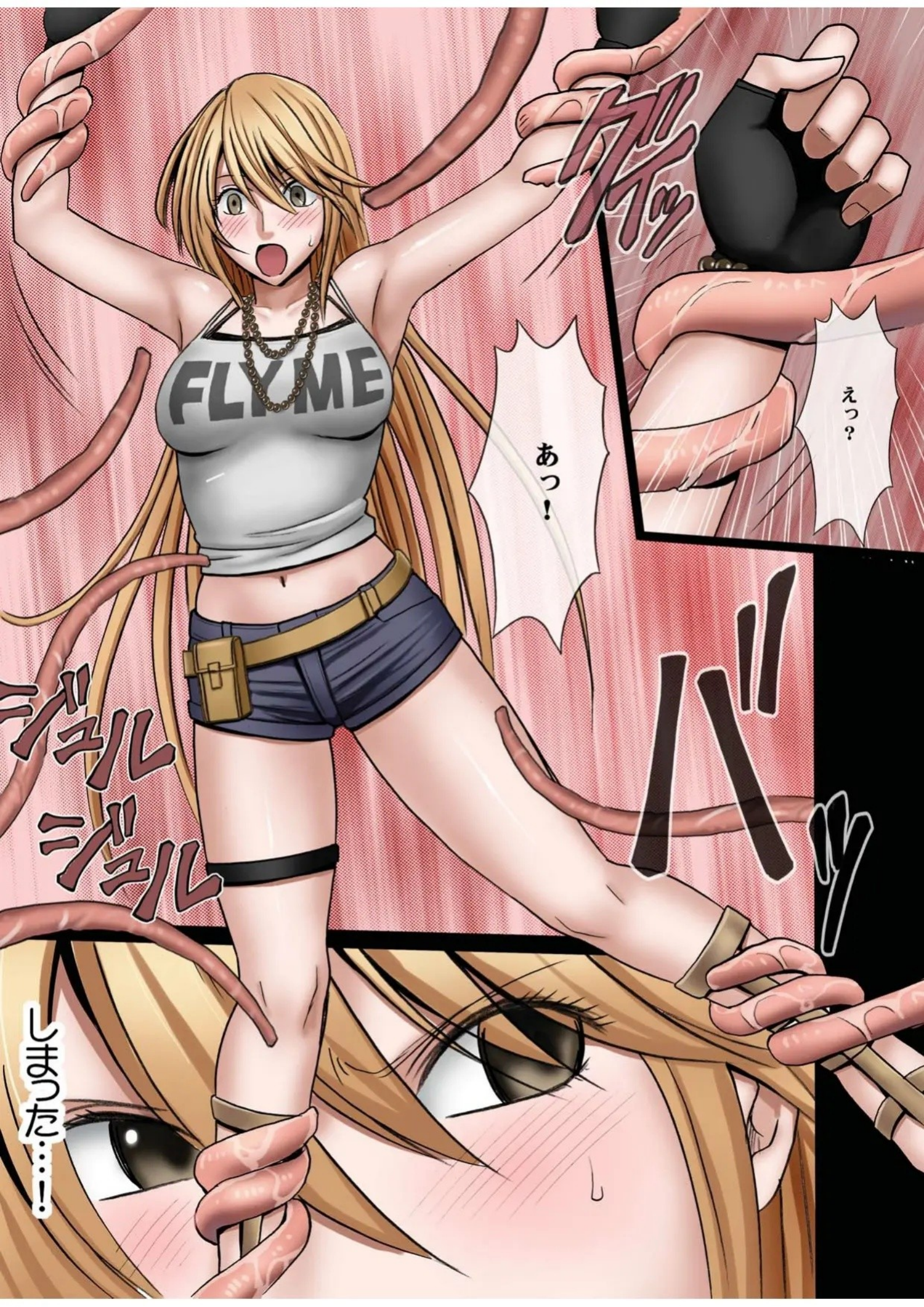
このレベルの
相手なら

一人で
充分……!



……
!?





ガッ

えっ?

あつ!

ニギル
ニギル

ハッ

しまった...!



フツッ

油断したな

アツク
退魔士たる

昨日
仲間の二人が
やられたらで聞いた

ゴニョ
ゴニョ
ゴニョ
ゴニョ



強いってことは
分かつてる

だから畏を
しかけさせて
もらった

ニヤリ

オレは
アイツのようには
いかないぜ？



くっ！
まっ！

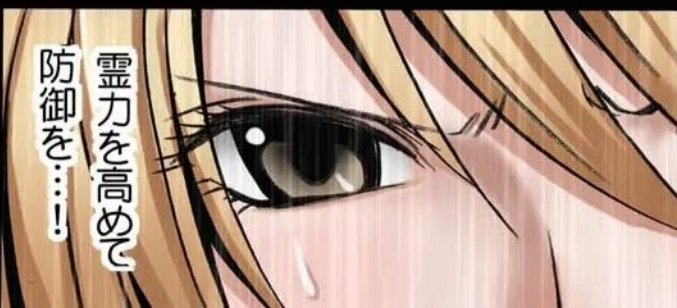
やられる…！

スッ



畏…？

本能のみで動く
妖魔にそんな
知性が…？



霊力を高めて
防御を…！



な…何を…？

…
!?



フフフ！

何を
やってるか！
だつて？

揉んでるんだよ

お前のこの豊満な
オッパイを

見て
分からないのか？

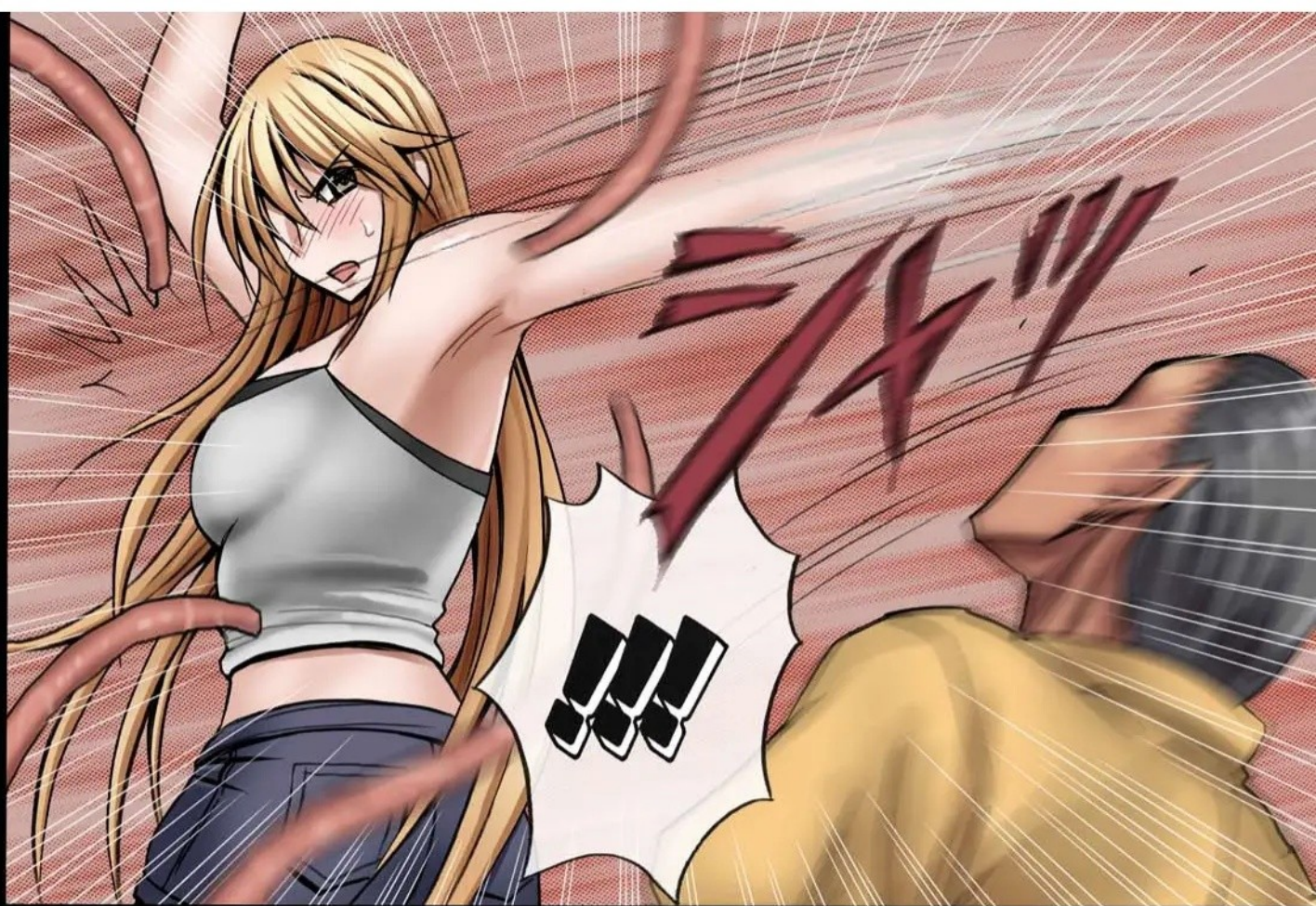
喰われるにでも
思ったか？

そんな野蛮なことを
するつもりはねえよ

…!!

オレがやりたいことは
ただひとつ





危ない危ない

おい...



くっ...



さすがに
調子に乗りすぎた！
近寄るとまずいか

もていへん
直接
触りまくってたかつた
ところだが！

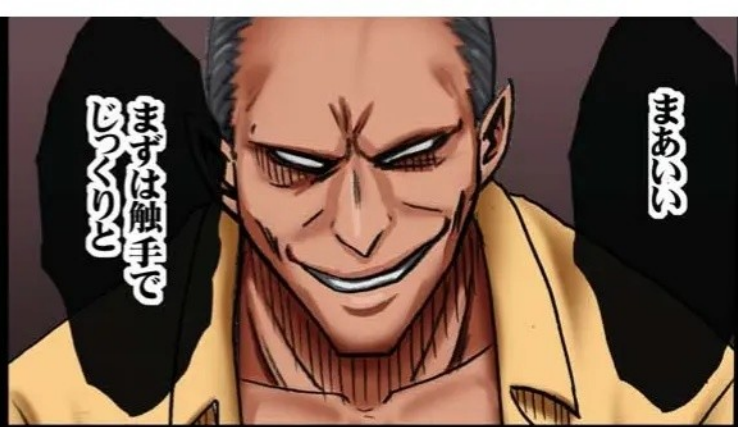
スッ

ニブル

ニブル



カラダをこわげさせて
いくとするか



まあいい

まずは触手で
じっくりと



やつ！

ジャ
ブル
ル

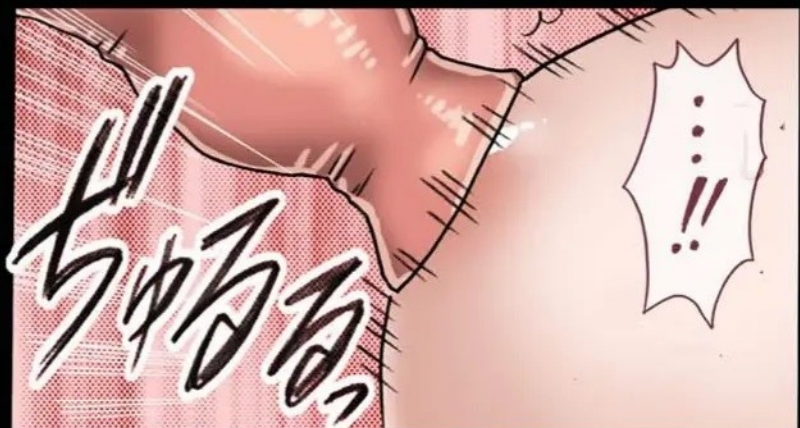
いやッ！

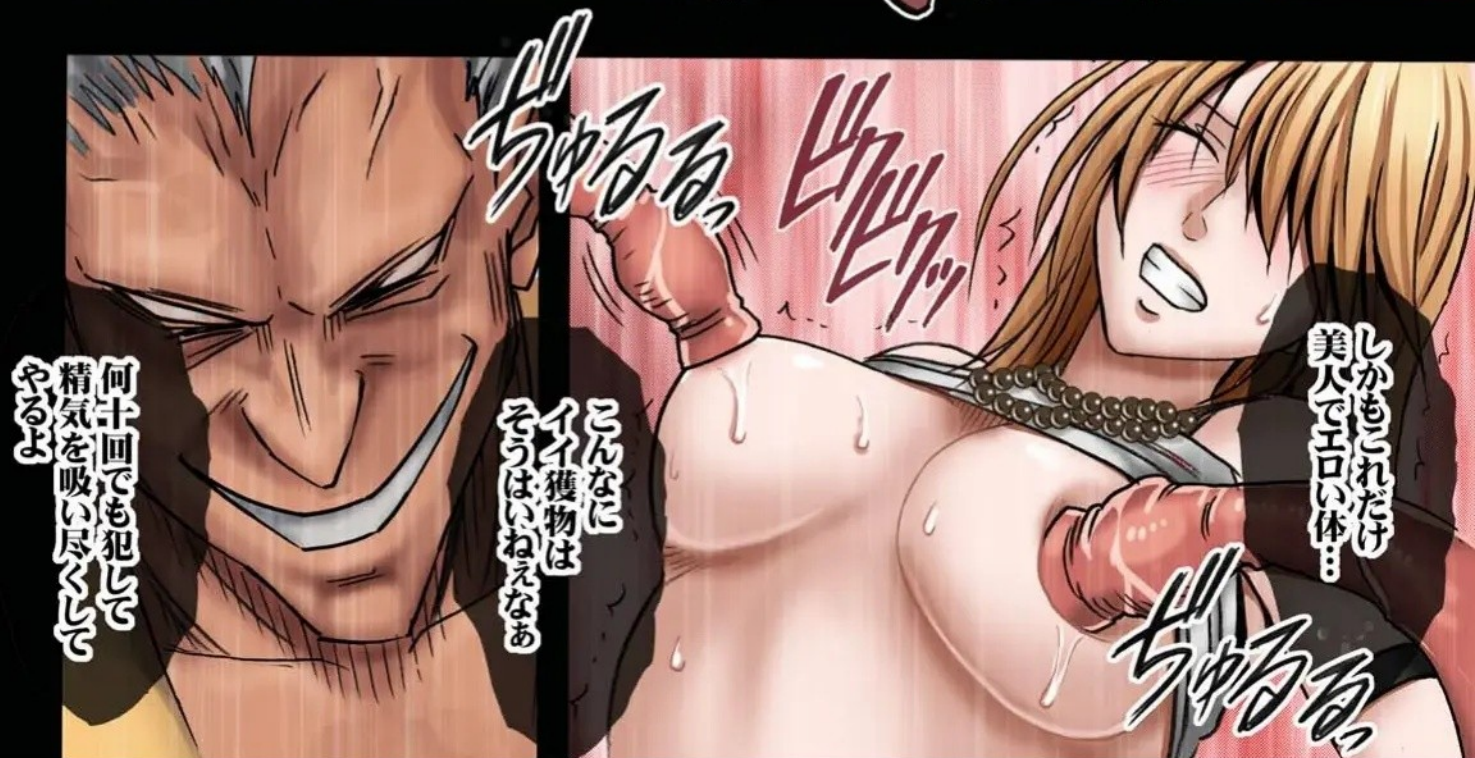


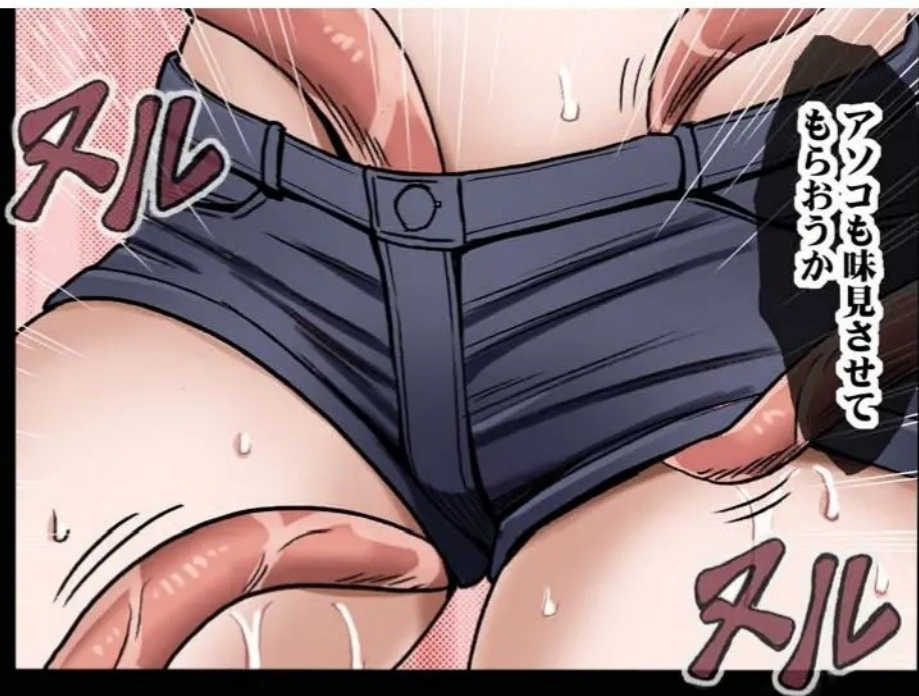
何なの
この妖魔は…！！

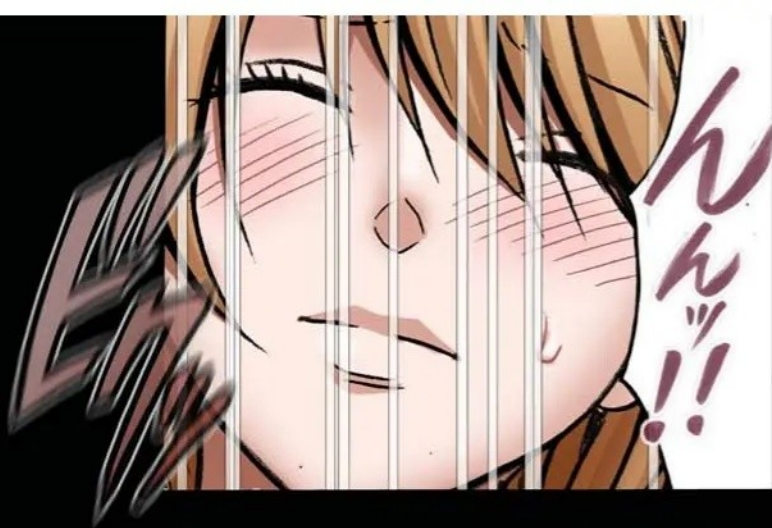
今までの妖魔は
ただ食欲や破壊欲の
おもむきままに
突っ込んでくるだけの
単純な奴ばかりだったのに











んんッ!!



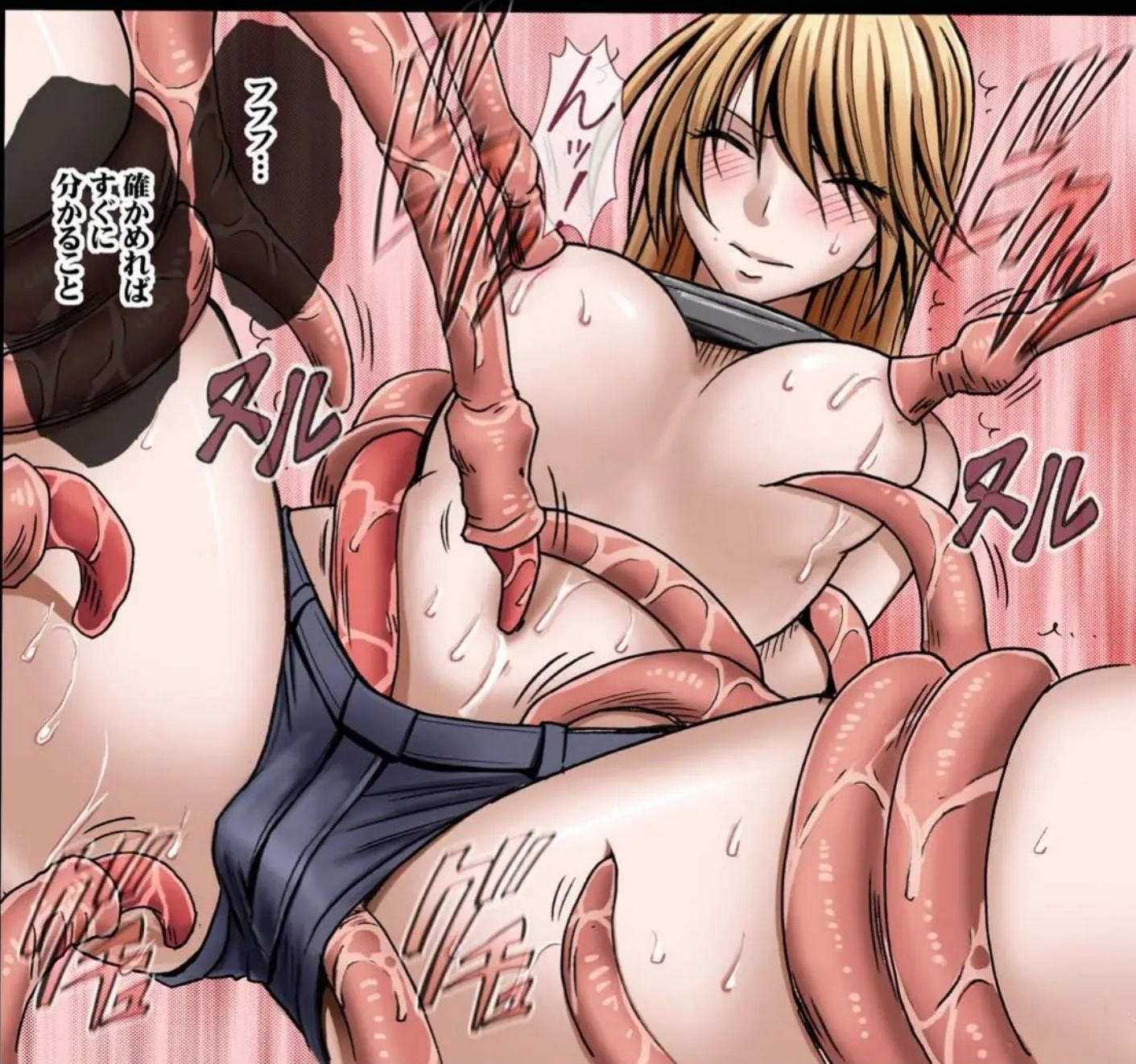
ヌル



フフフ!!
その反応!!

こういう攻撃は
受け慣れてないと
見える

さてはアンタ
処女だな?



フフフ!!

確かめれば
すぐに
分かること

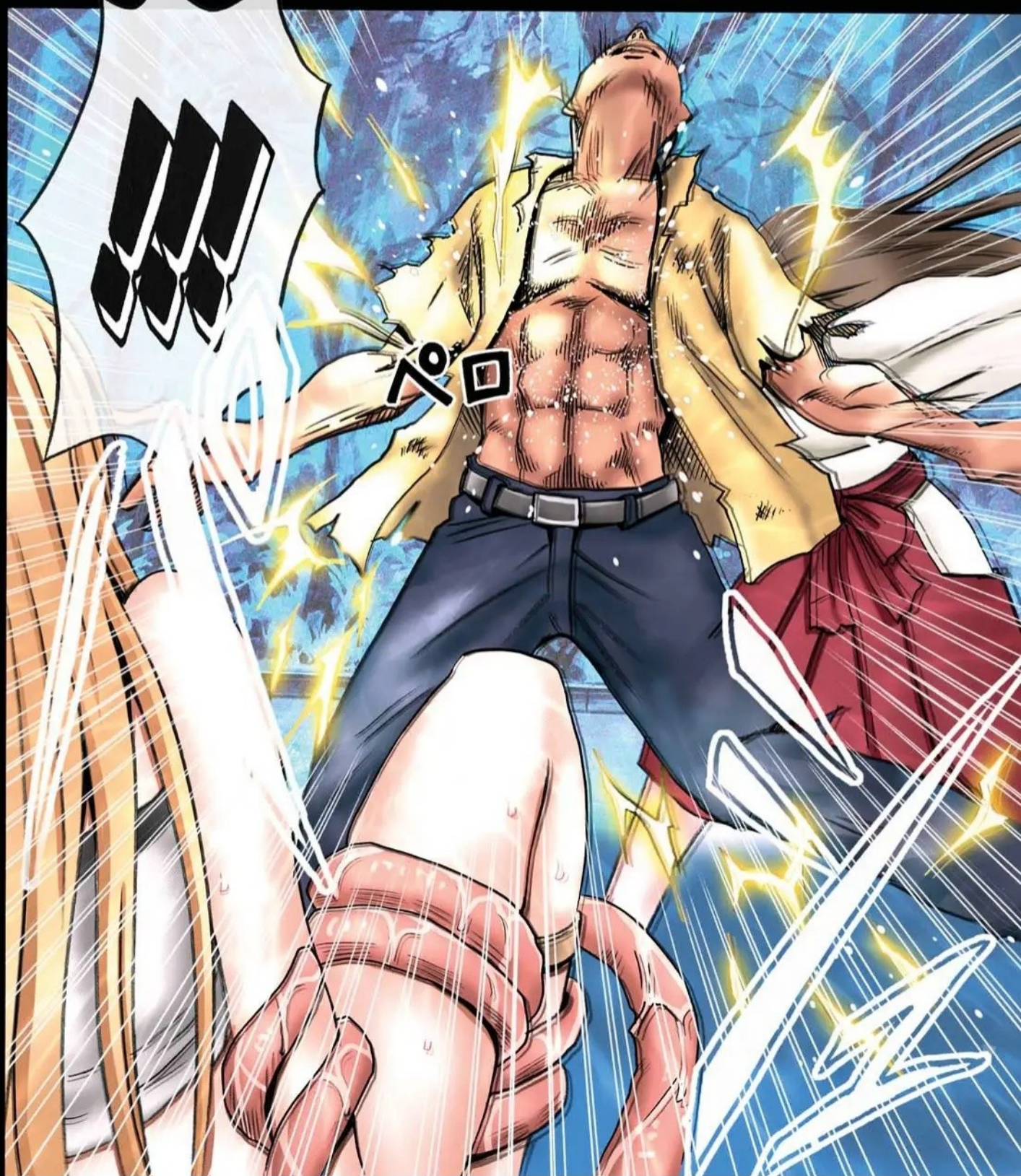
ヌル

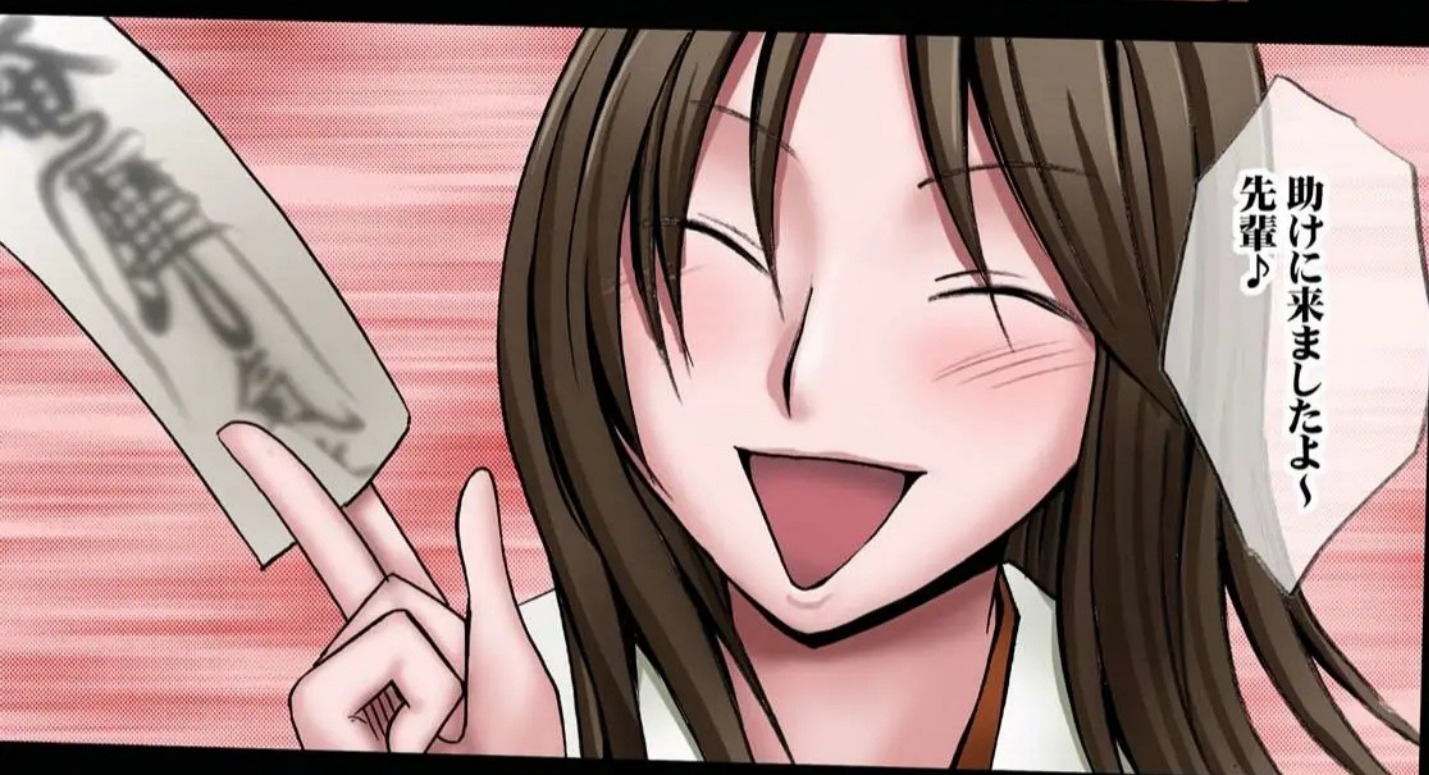
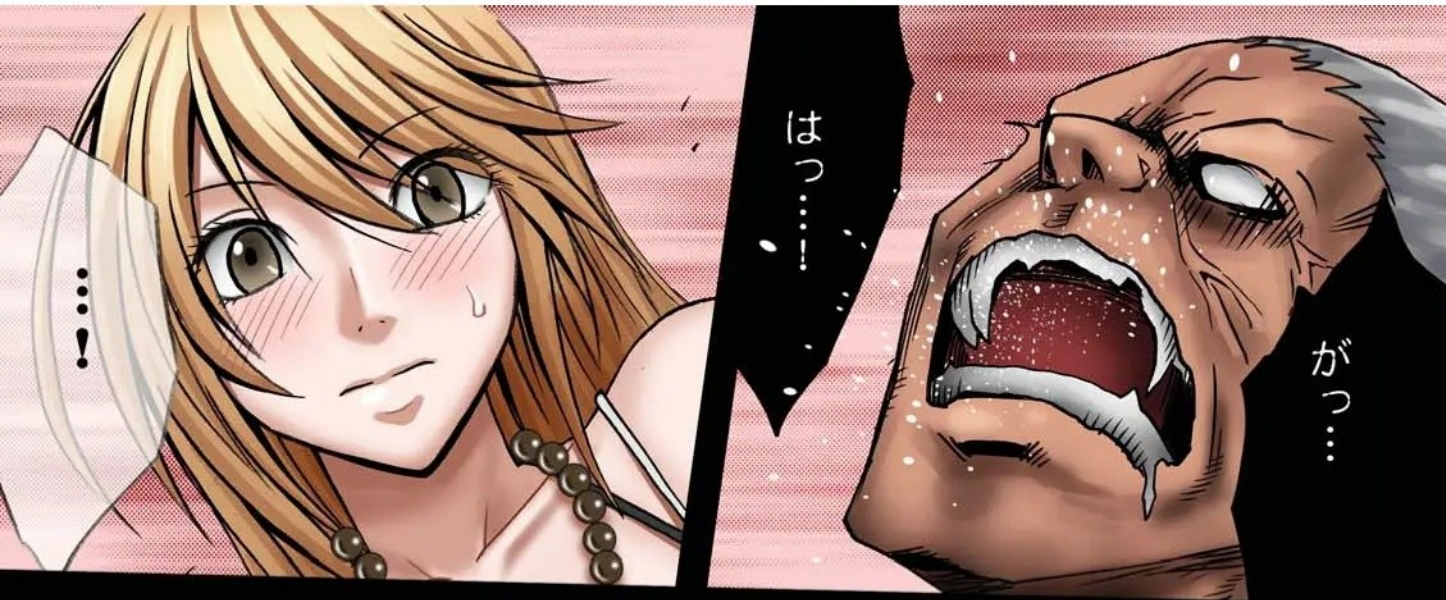
ヌル

グハ

加







陽魂衝！



シュウッ



ふう…

何とか
倒せたわね…



えへへ

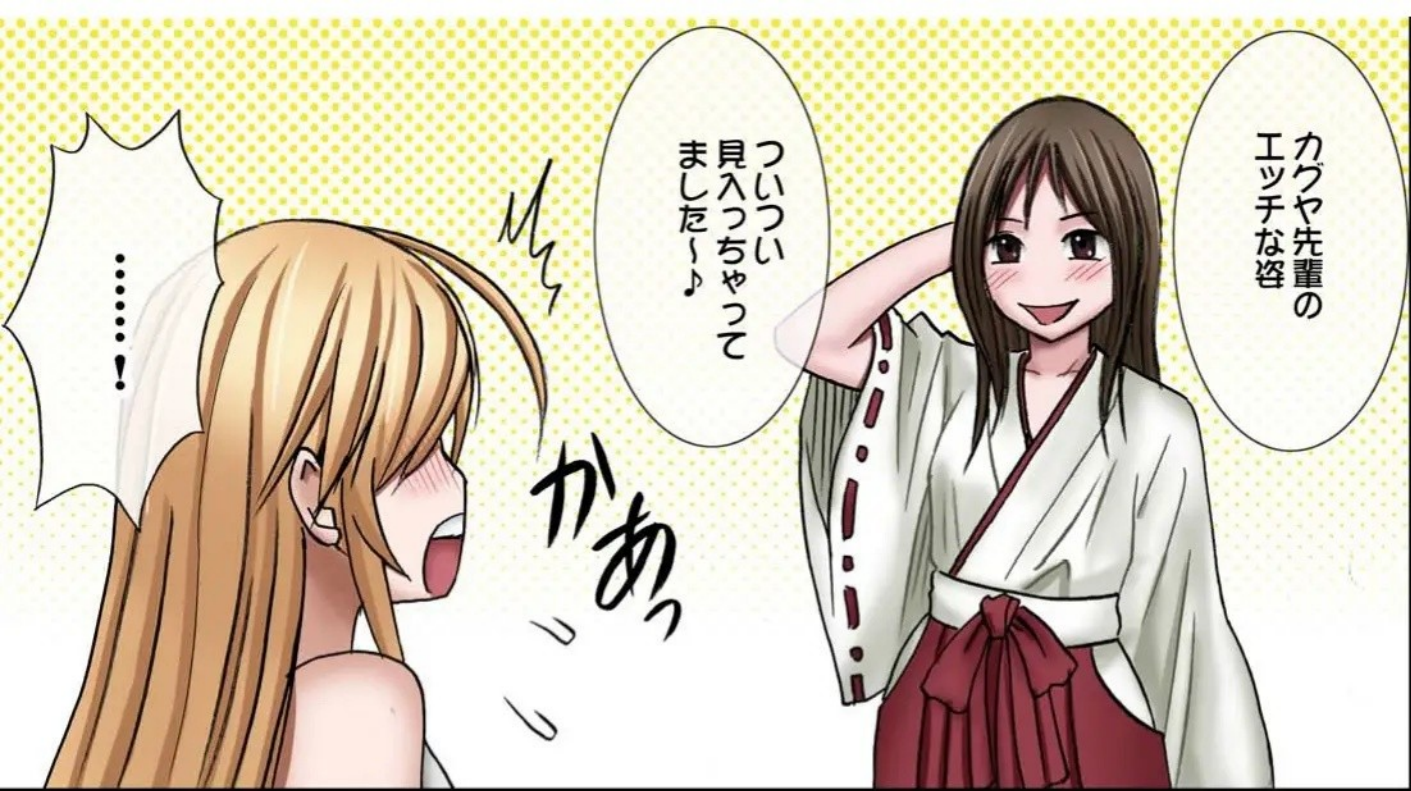
すみません
助けに入るの
遅れちゃつて

ホントは
もうちよつと早く
気づいてたんですけどね



こんなに
ピンチになるとは
思わなかったわ…

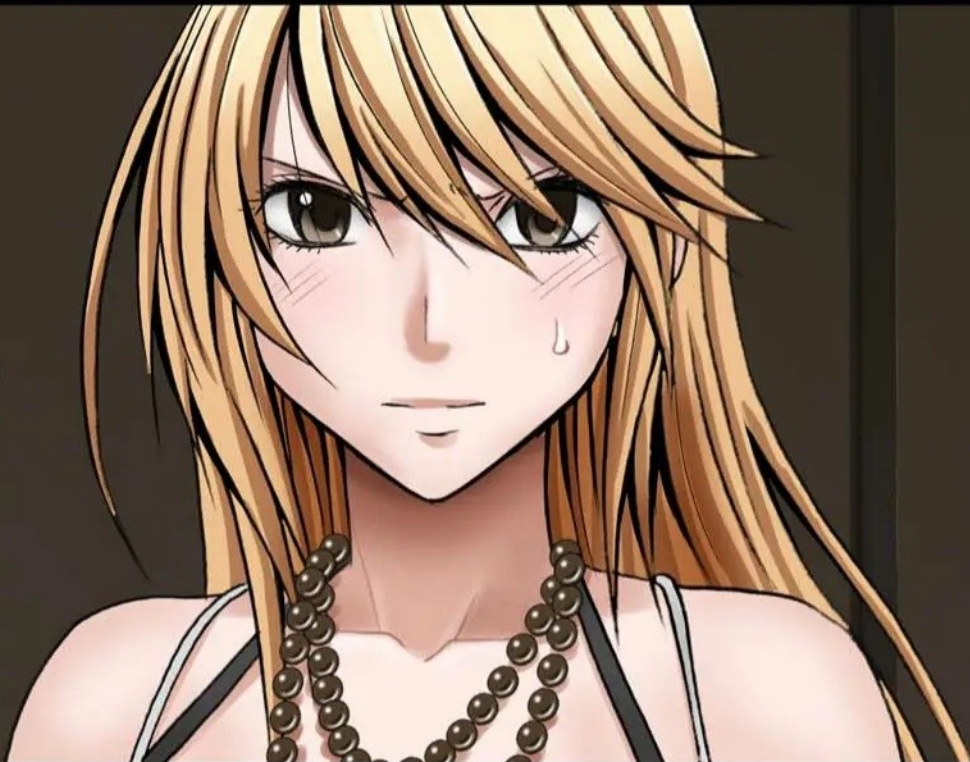
ありがとう
メル…
助かったわ



加羅石町に来てから
3日目

天才美少女
退魔士は

早くもピンチに
陥っていた



……！

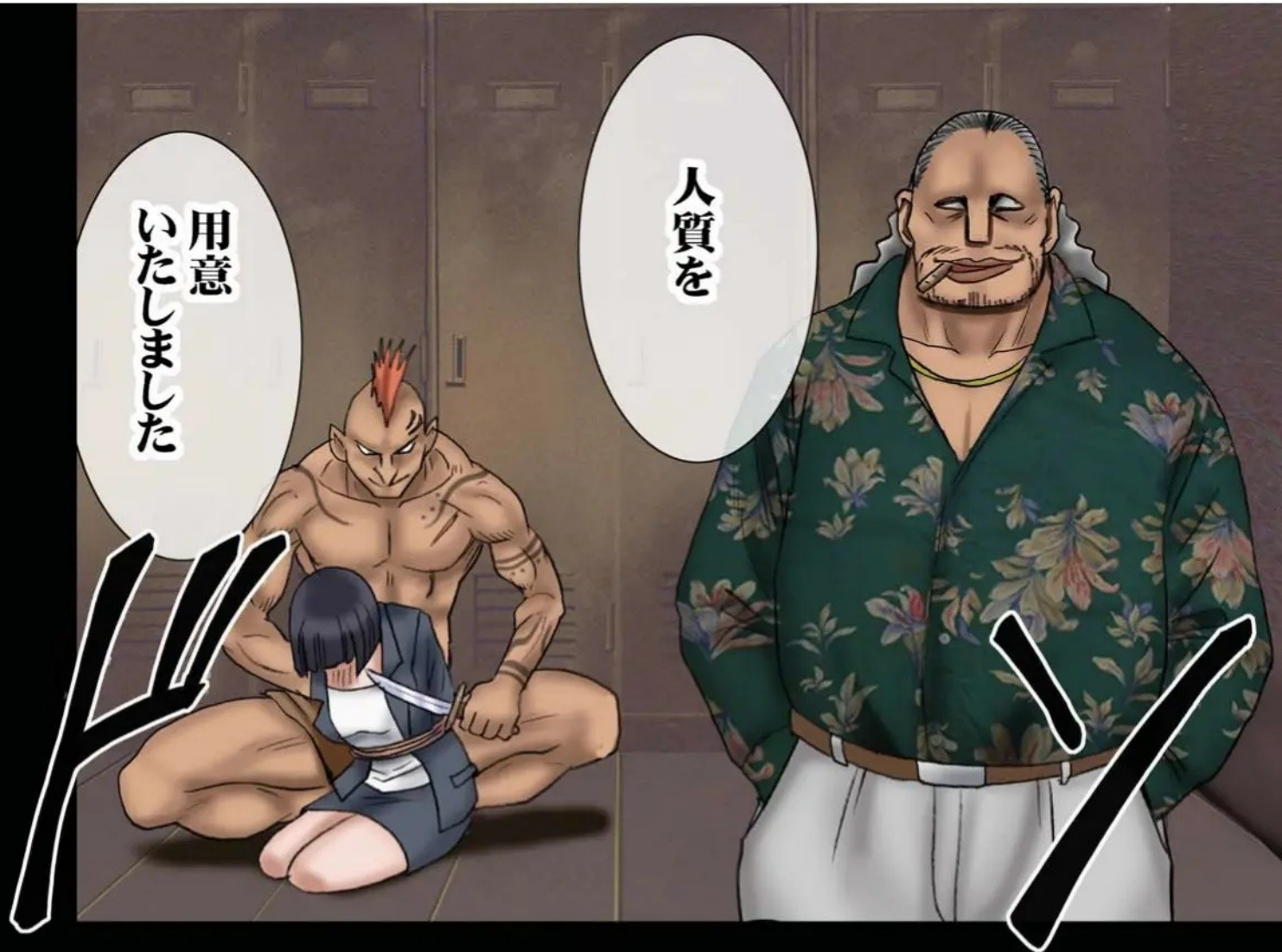
フフフ…

あなたが強いことは
充分承知しています

ここ2日で
二人もの同胞が
消滅させられたの
ですからね

だからといって
あなたのその
おいしそうなカラダ
諦めるわけには
いきません

ですから



用意
いたしました

人質を



さあ
どうしますか？

人質はすべて
一瞬で
殺します

あなたが少しでも
霊力を高めたり
攻撃的なそぶりを
見せたら



……！



…卑怯もの…！

退魔士カグヤ

第2話

性欲を持った
敵との戦い



そうそう
それでいいんです

ジャラ

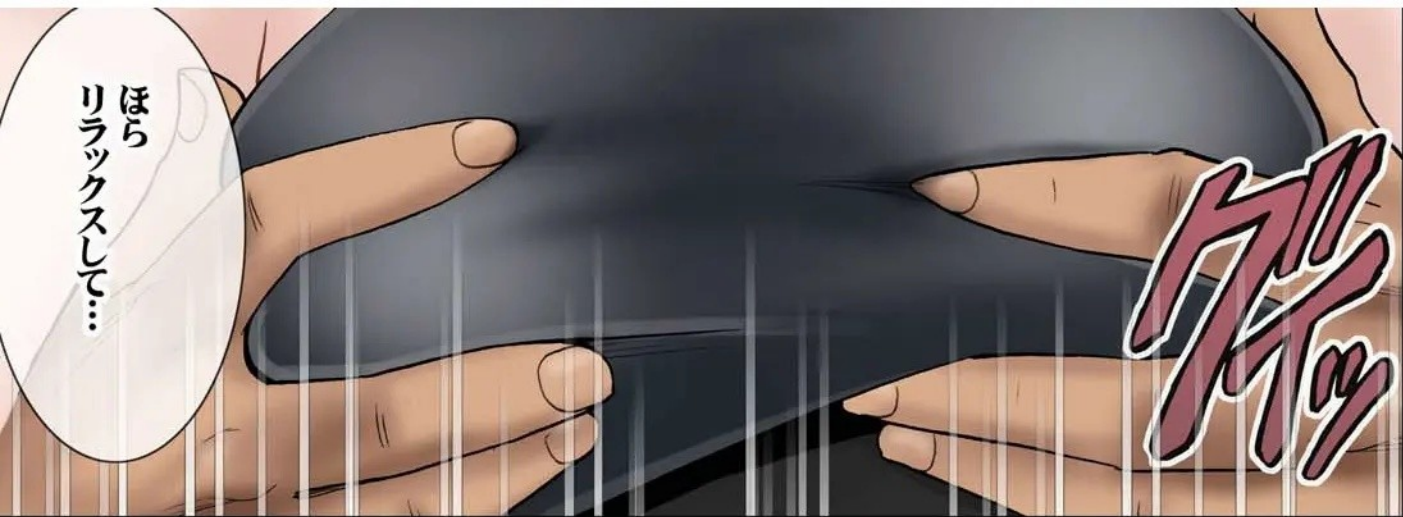


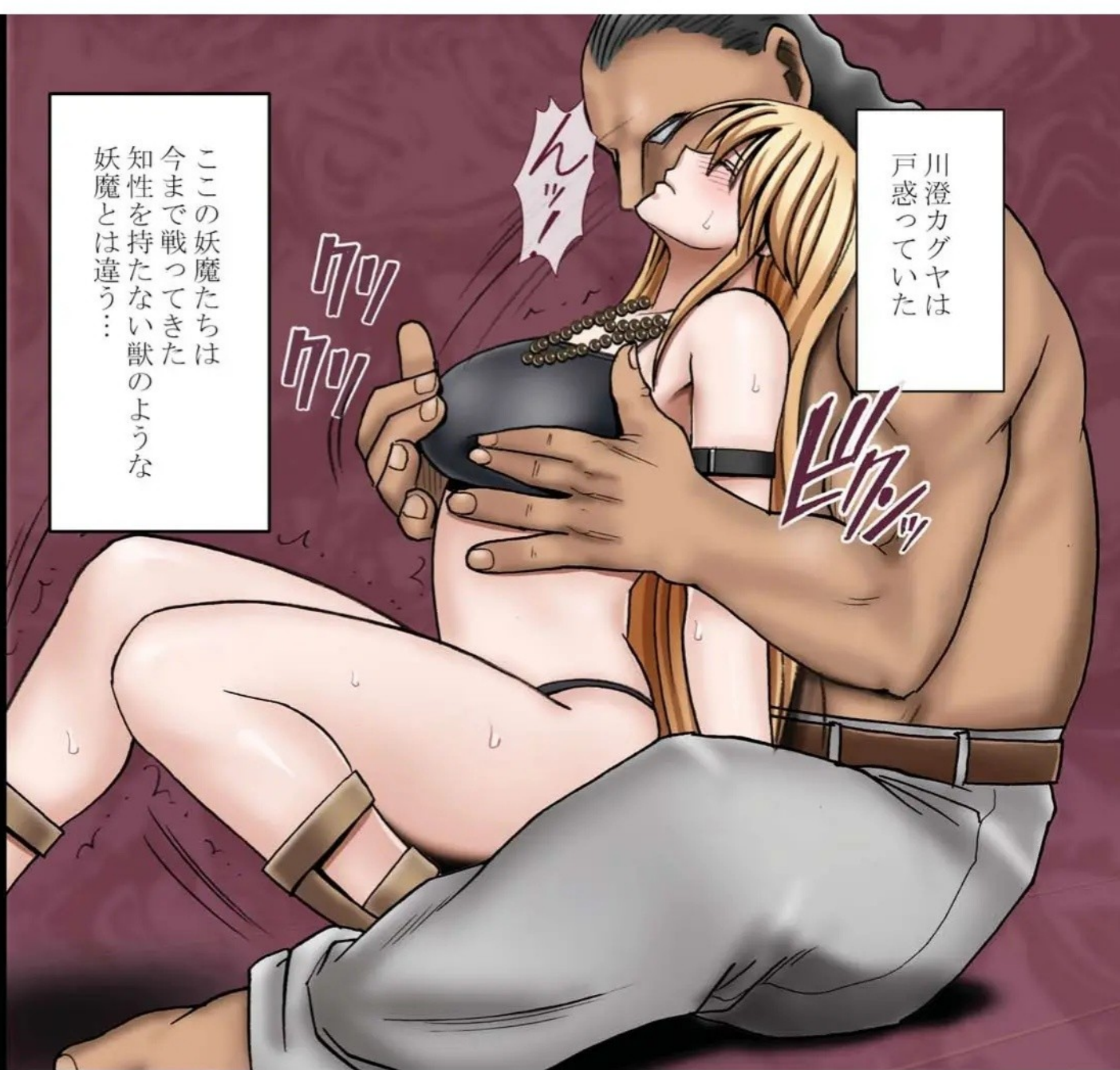
おとなしくして
くれたら
酷いことはしませんよ

グッ

...!!

ただ
私達のお相手を
していただければ
いいのです





川澄カグヤは
戸惑っていた

ここの妖魔たちは
今まで戦ってきた
知性を持たない獣のような
妖魔とは違う…

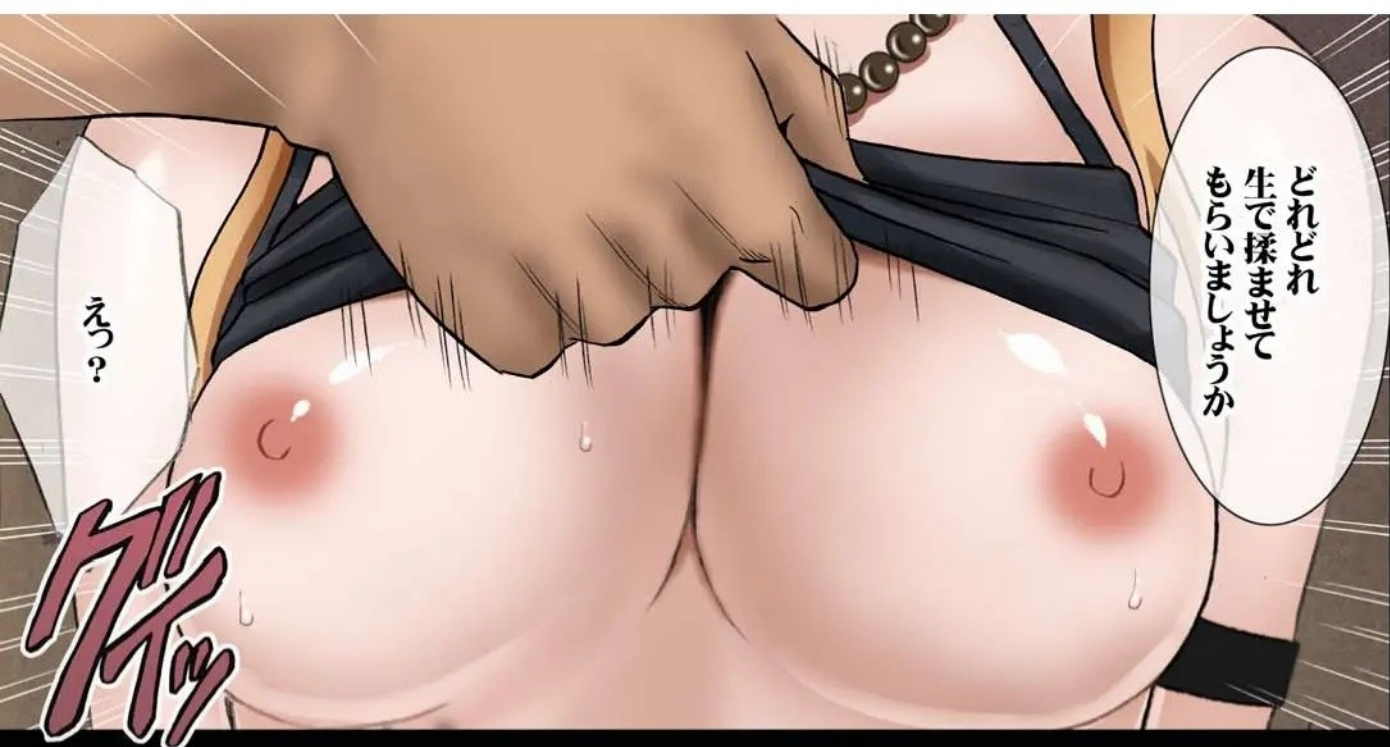


そして…

人間の男のような
性欲…!!



人質をとる
狡猾さ…



どれどれ
生で探ませて
もらいましょうか

えう？

んんッ!!



戦う相手が
自分を性的な対象として
責めてくる

妖魔との純粋なバトルに
明け暮れていた退魔士には
すべてがはじめての事で

んんッ!!

もみもみ

もみもみ

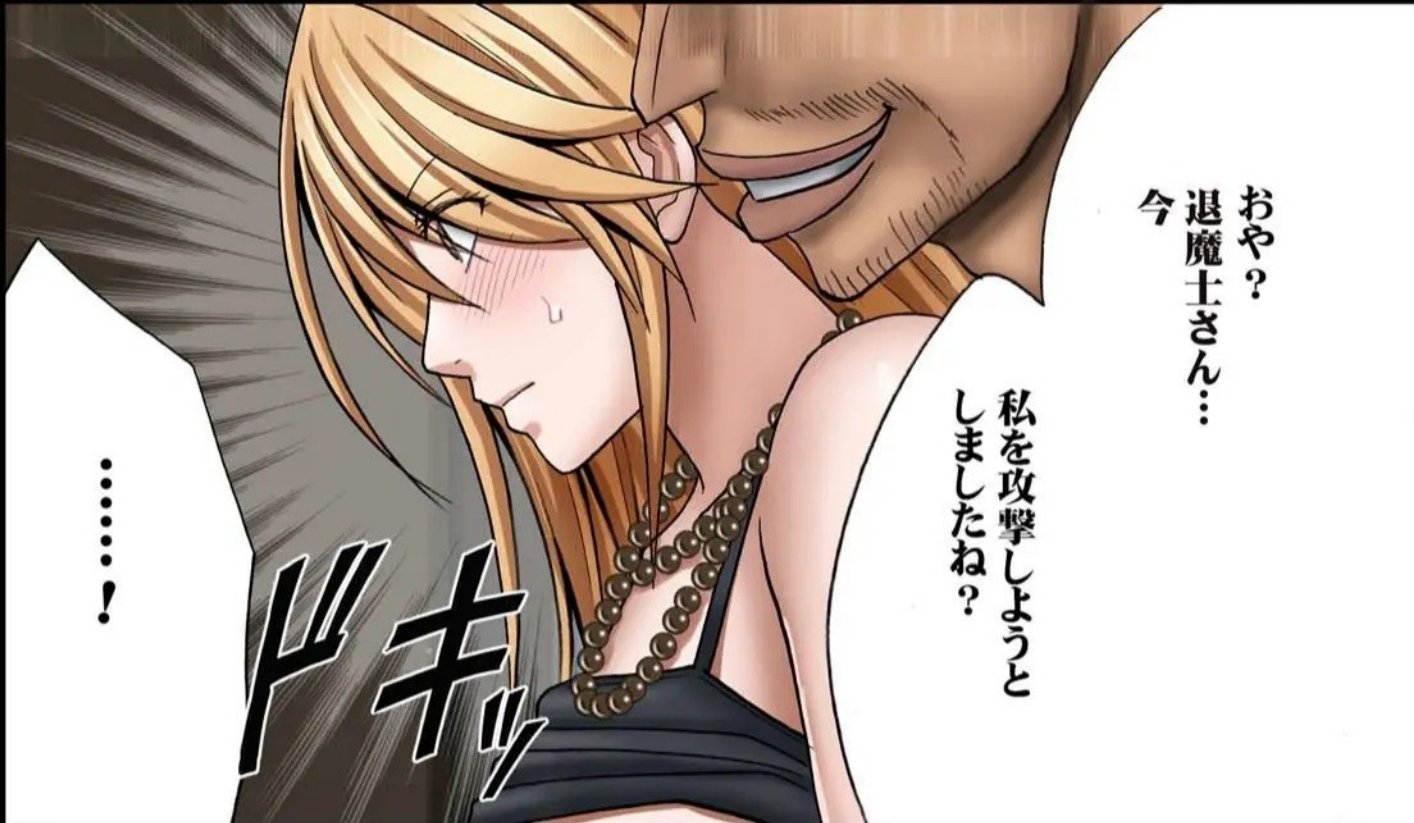
完全にペースを
狂わされていた



人質さえいなければ
この程度の妖魔なんか…!!



くっ…
こんな好き放題
されるなんて…



おや?
退魔士さん…
今

私を攻撃しようと
しましたね?

ドキッ

……!



今回は特別に
見逃してあげましょう

次…また私に対して
攻撃の意を見せたら
どうなっても知りませんよ

……



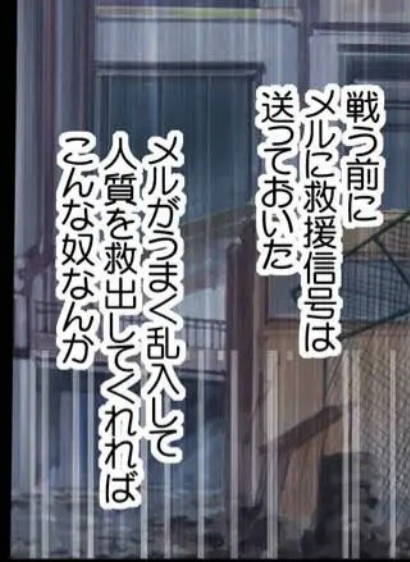
いいんですか?

人質がどうなっても…

三十



でも…まだチャンスはある…!!



戦う前に
メルに救援信号は
送っておいた

メルがつまぐ乱入して
人質を救出してくれば
こんな奴なんか



……!

スッ



やっ!
な…何を…!!



ヌル



どうですか？

感じてきましたか？

では…
次はもっと敏感な
乳首に…

や…やめろッ…

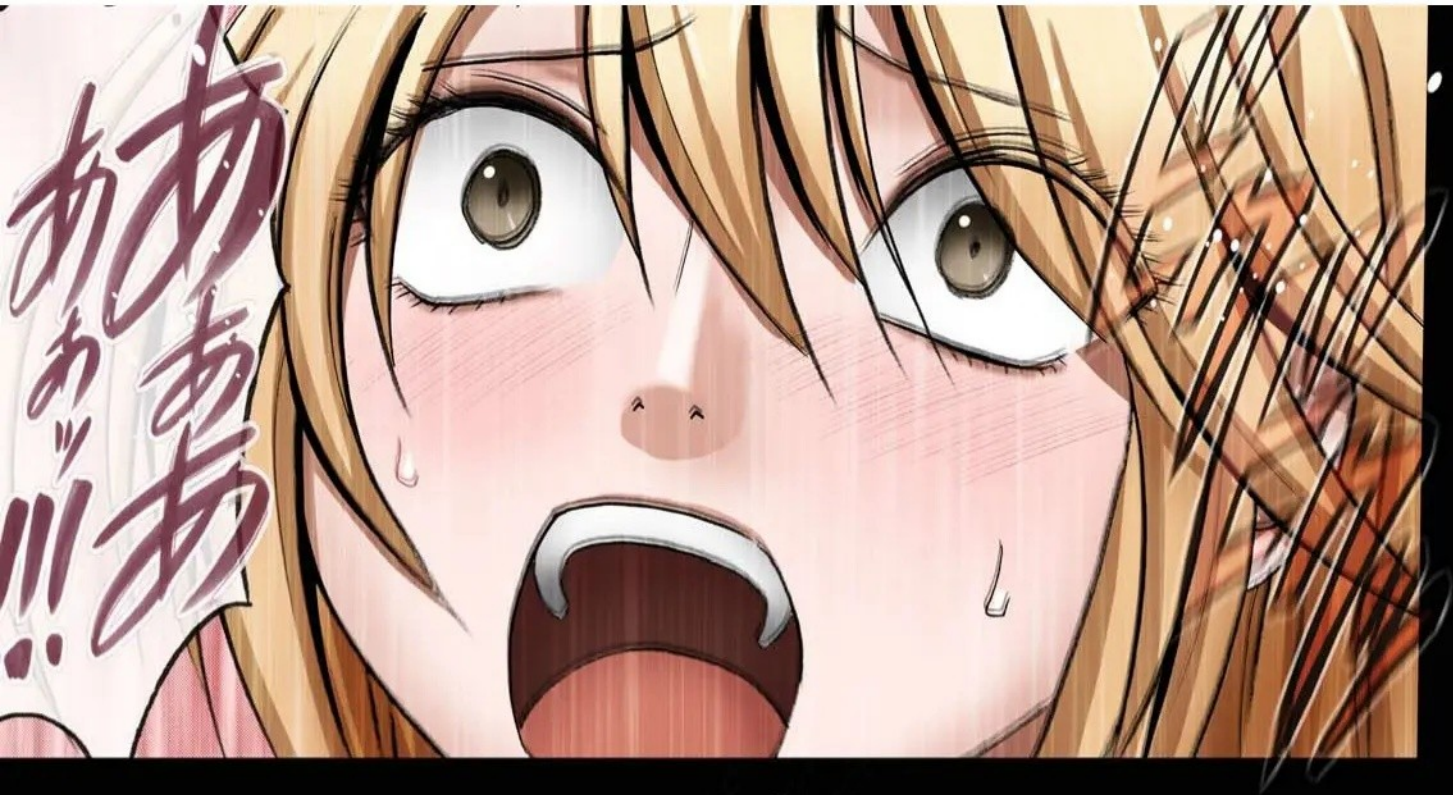
ハッハッ

あああ
あッ
!!!

ピチャッ

ビビッ
ビビッ
ビビッ



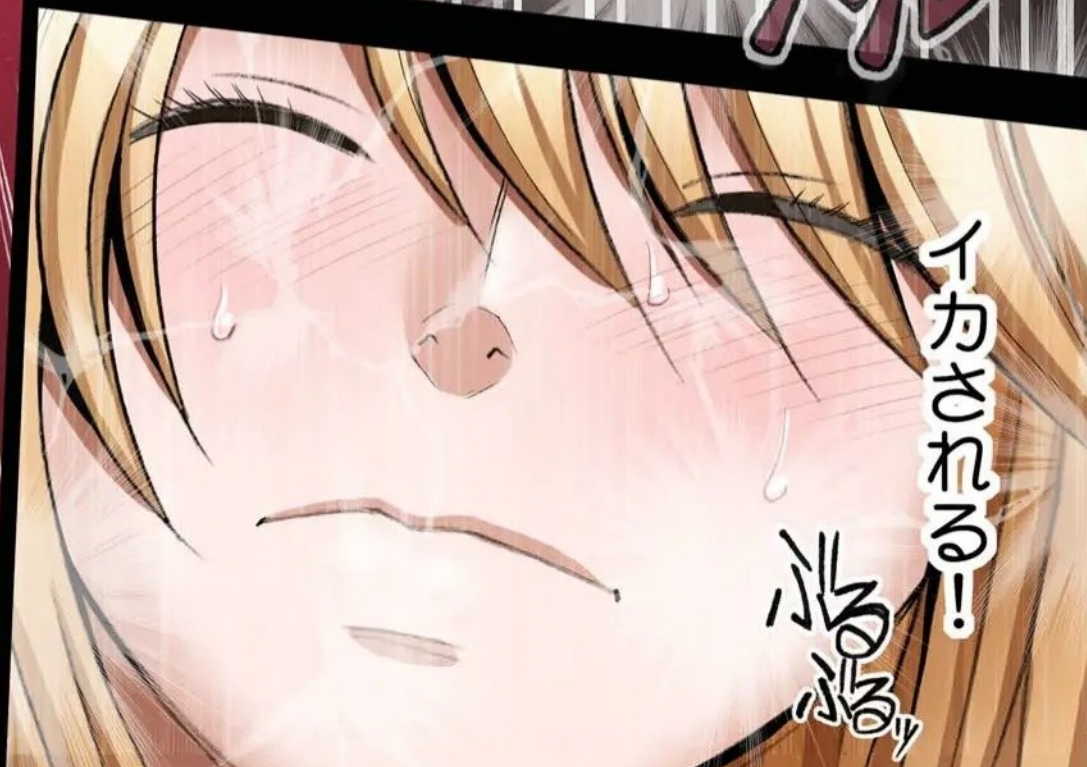
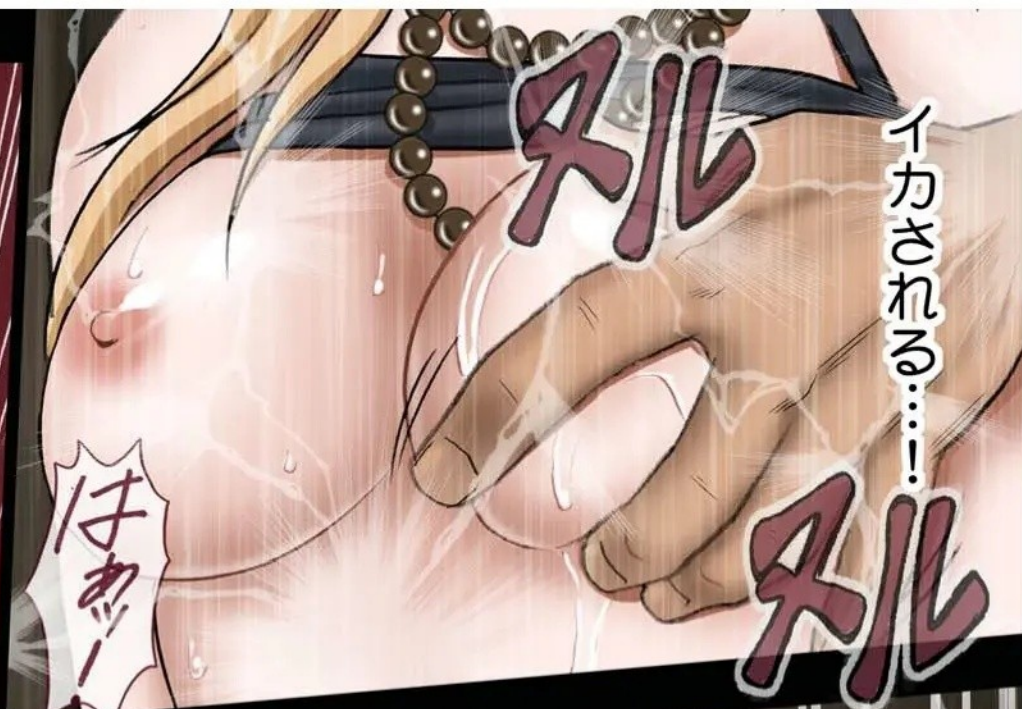








イカされるッ……!!



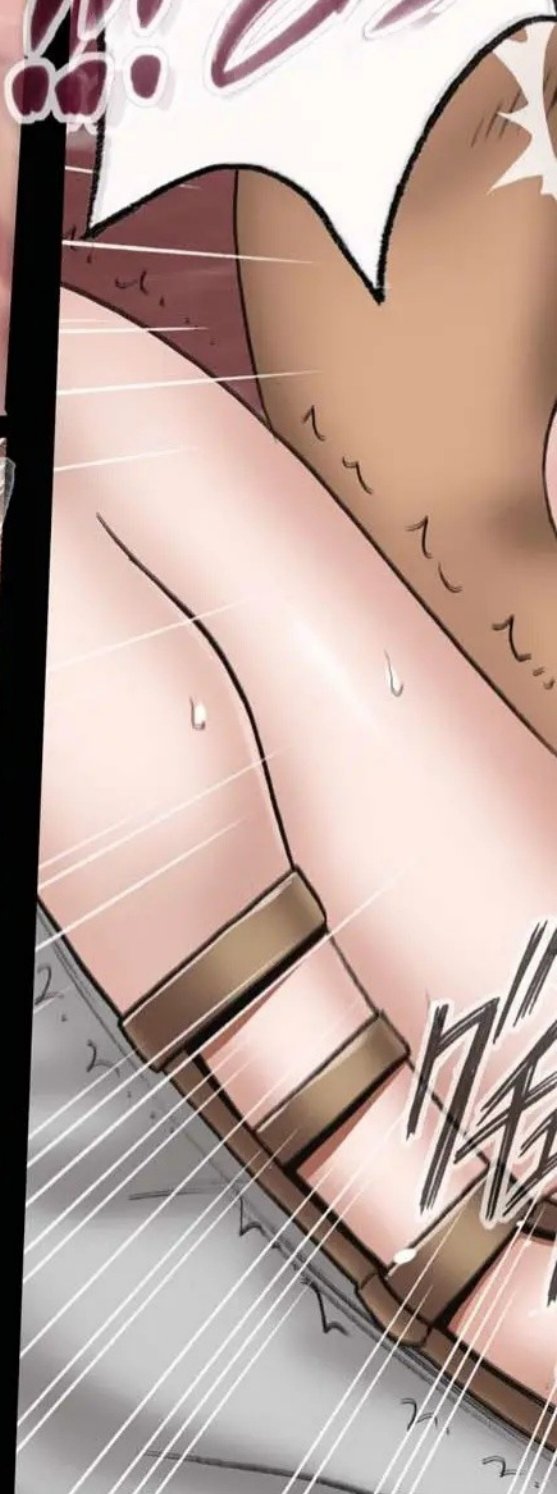




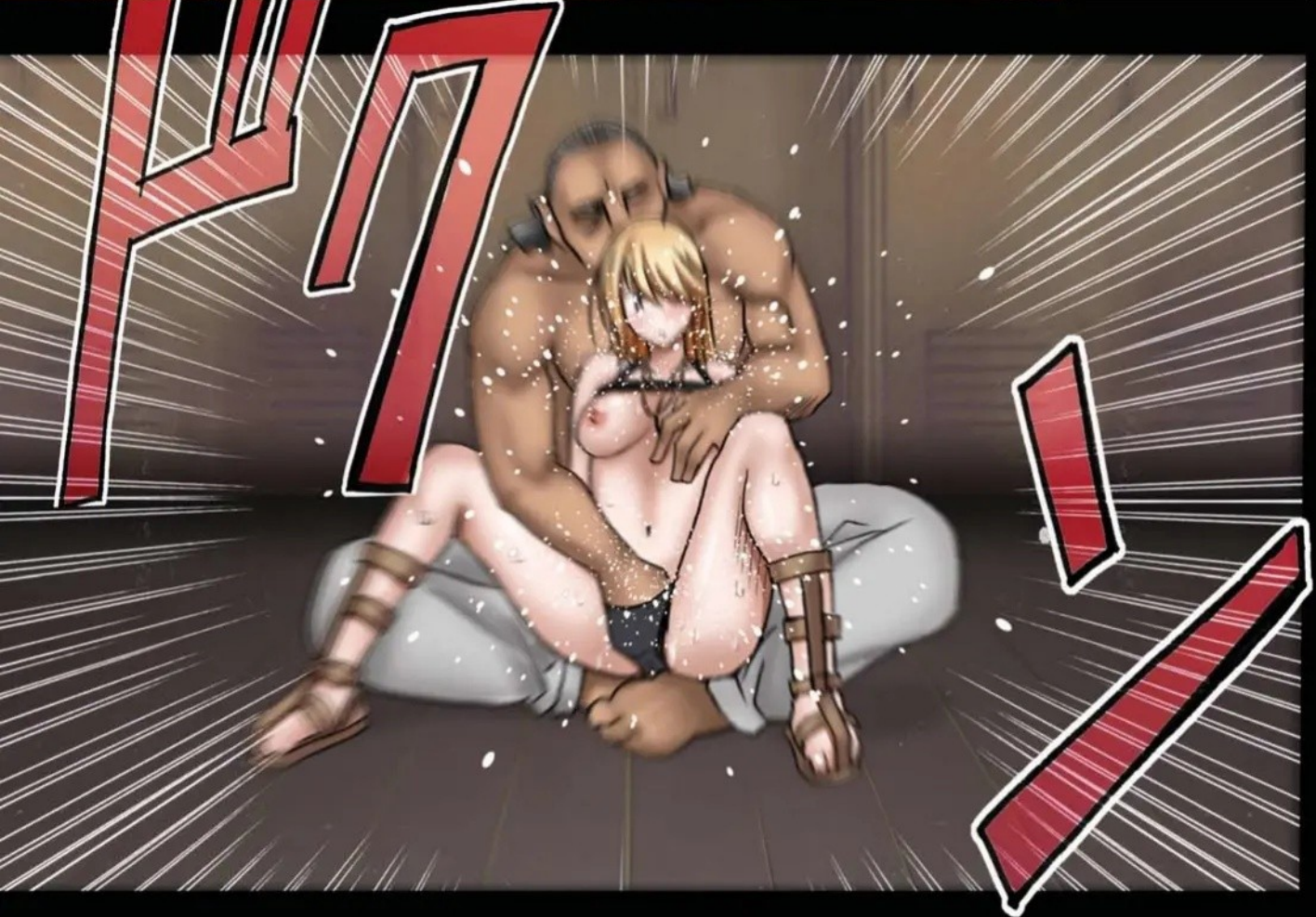
あああ
あああ
あああ



.....
!?



うわ



霊力が吸い取られた
みたいなの...!?

今...!

な...何...?

さすがは退魔士…
すばらしい精気を
お持ちのようで

指でイカせただけで
これだけの美味

………！

これは
ペニスを入れて
イカせまくったら

どれほどの
最高の精気を
味わえるのやら

まさか…！

この変態の
妖魔達は…

女をイカせることで
精気を吸い取るの？





フフフ…
またイキそう
ですねえ

絶対に…
絶対にイキたくない!!

クッ…

ビクッ

んッ!

ググ

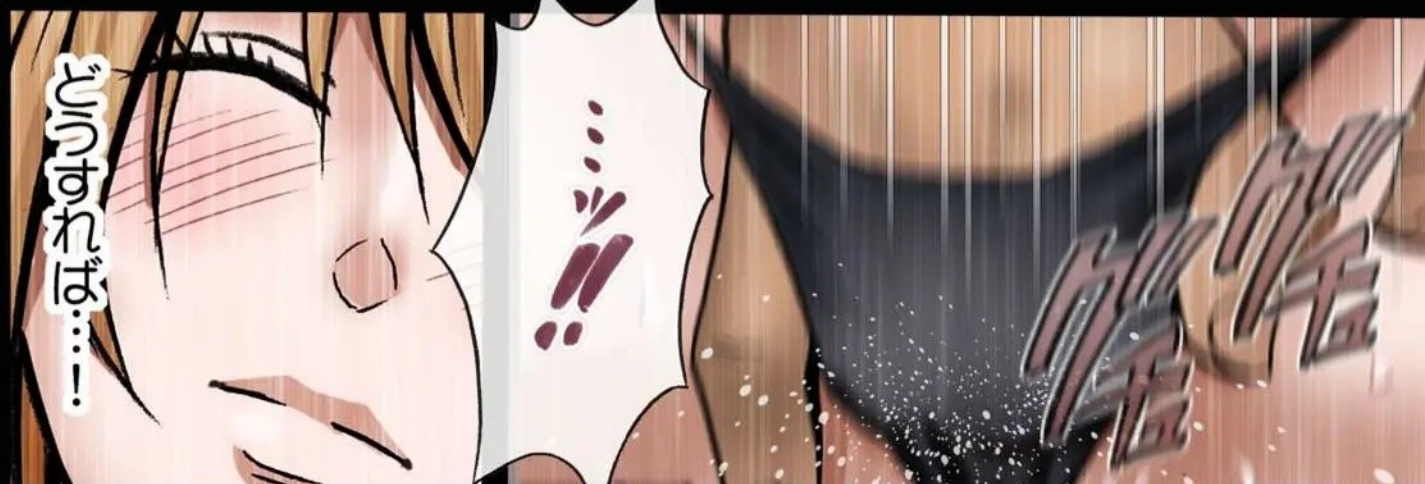


どっすれば…!

ググッ



でも人質を
捕られている以上
反撃できない…!!



どっすれば…!

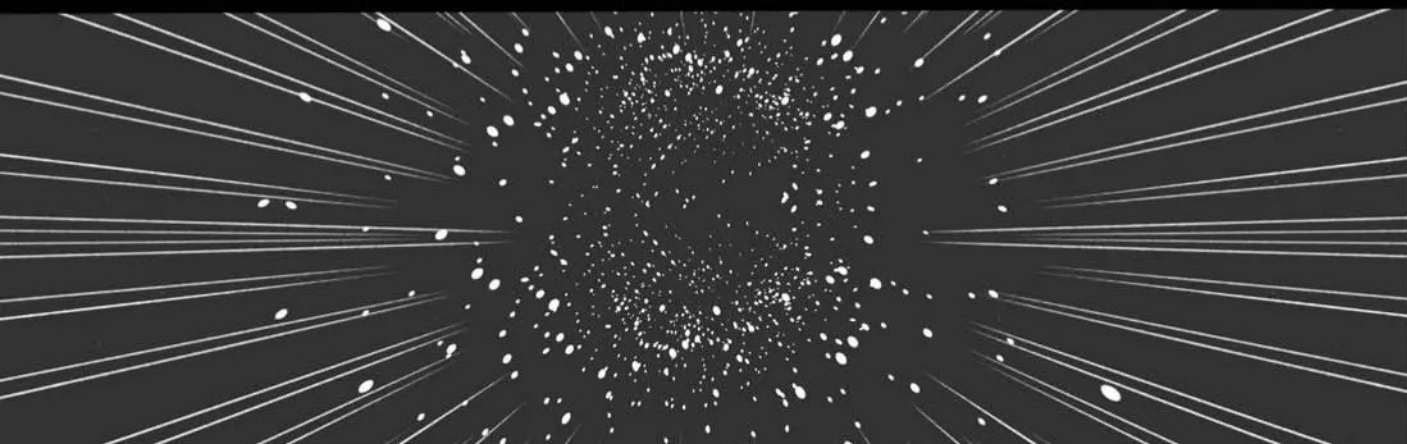
ググ

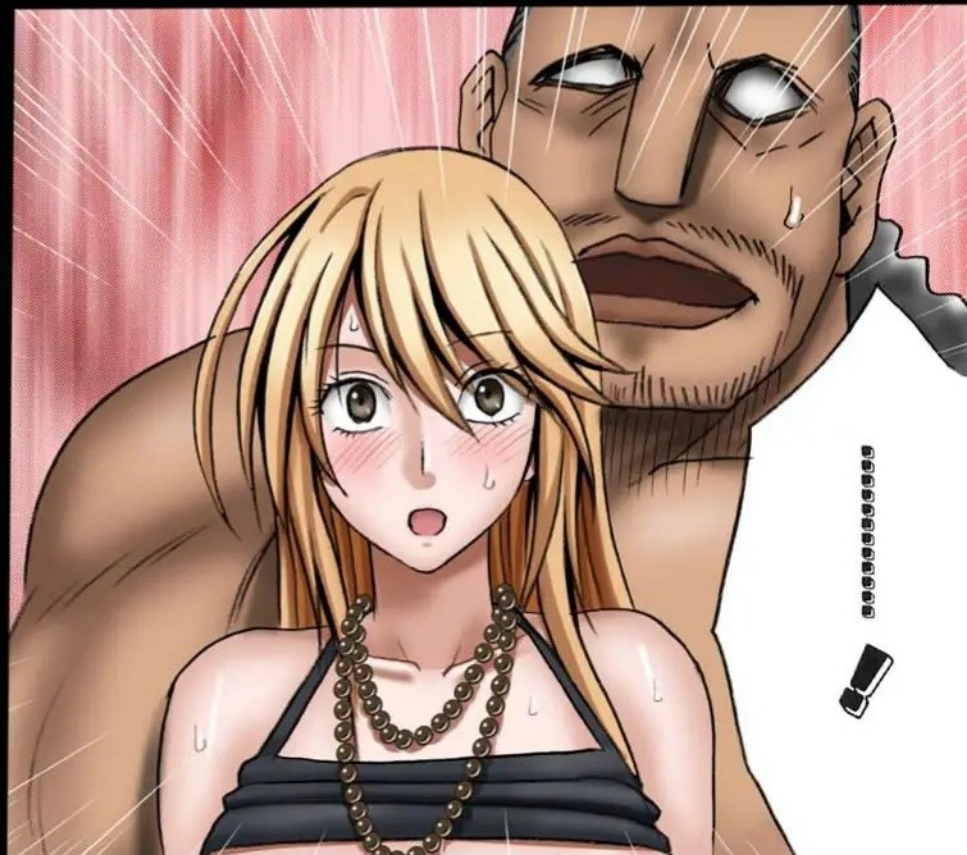
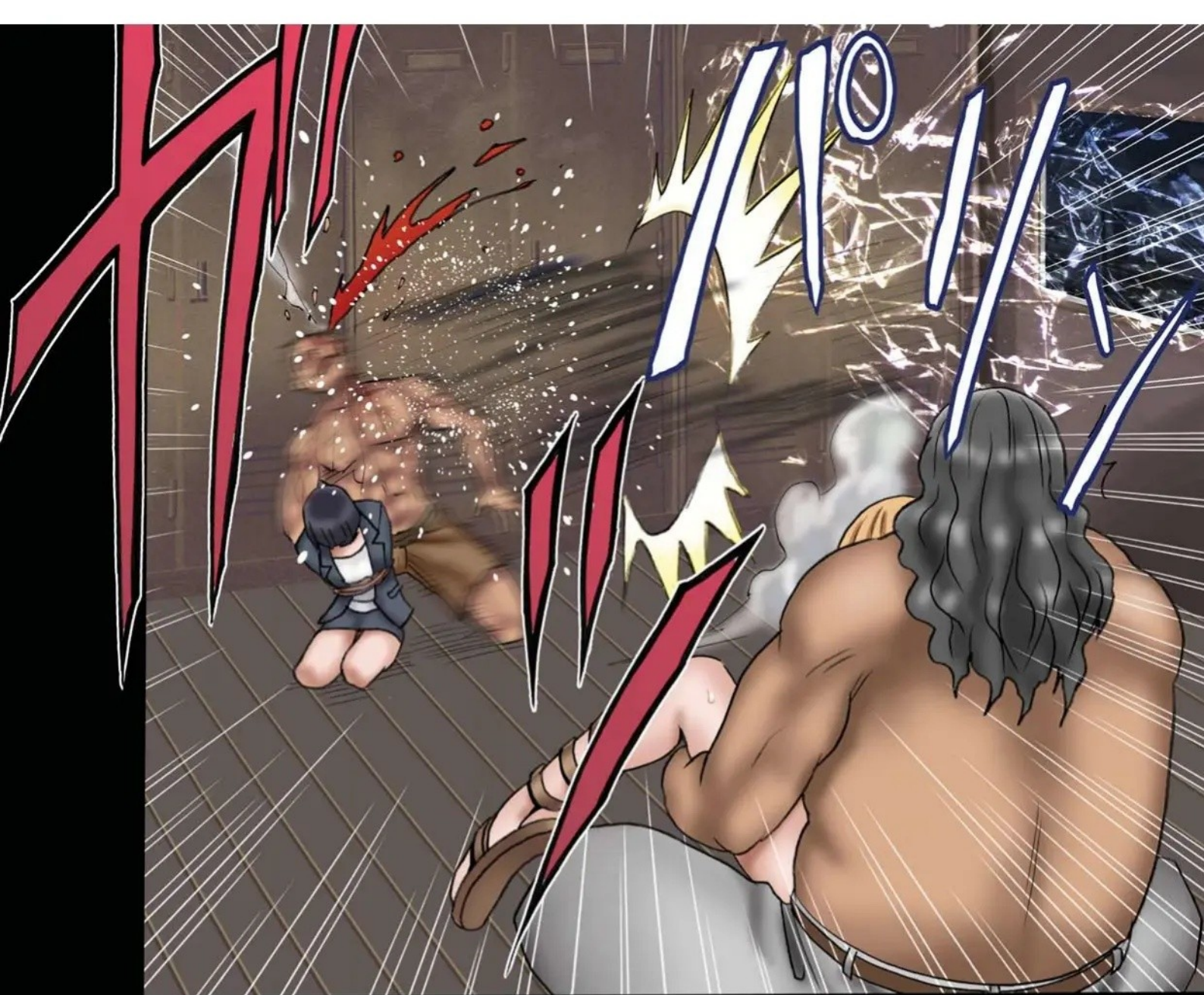
ググ

ダメッ！

はぁぁッ！！

また…イッちゃっ…！











昨日先輩を
助けた
女の人なんですけど…

彼女は
ケーシヤさん

助っ人として
追加で派遣された
A級退魔士です



それにしても…

追加でA級退魔士が
派遣だなんて…



こんなこと
初めてね…

人質を

やっぱりこの町の妖魔は
タダモノじゃないって
ことなのね…

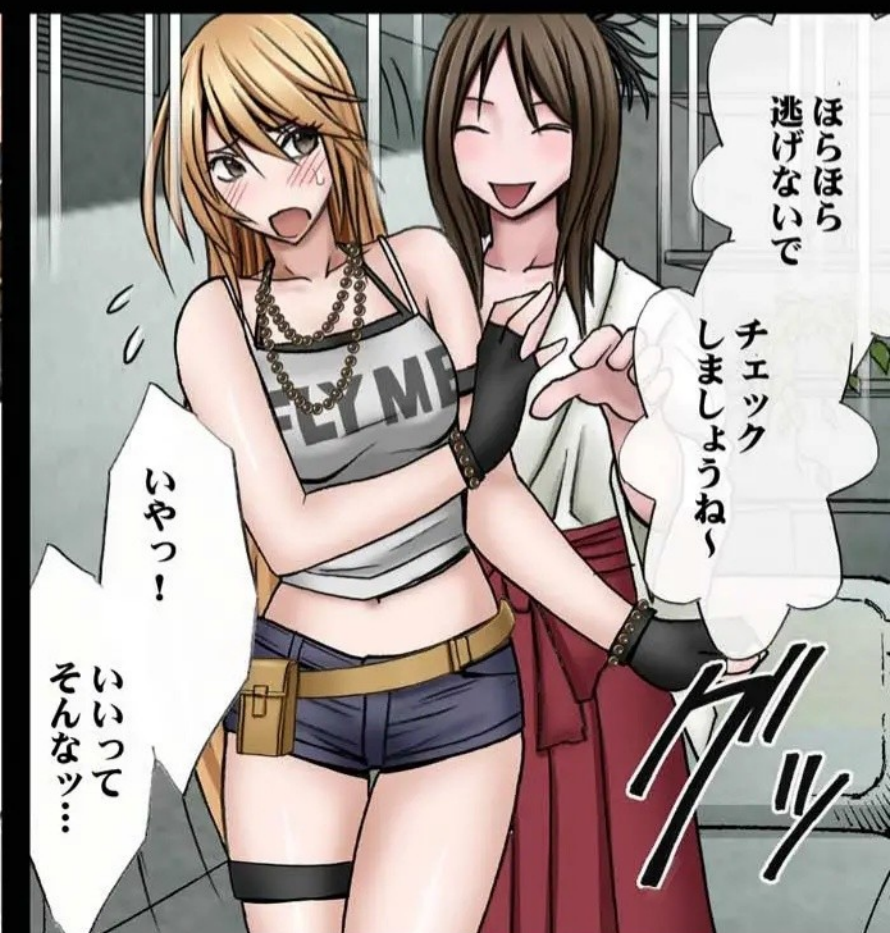
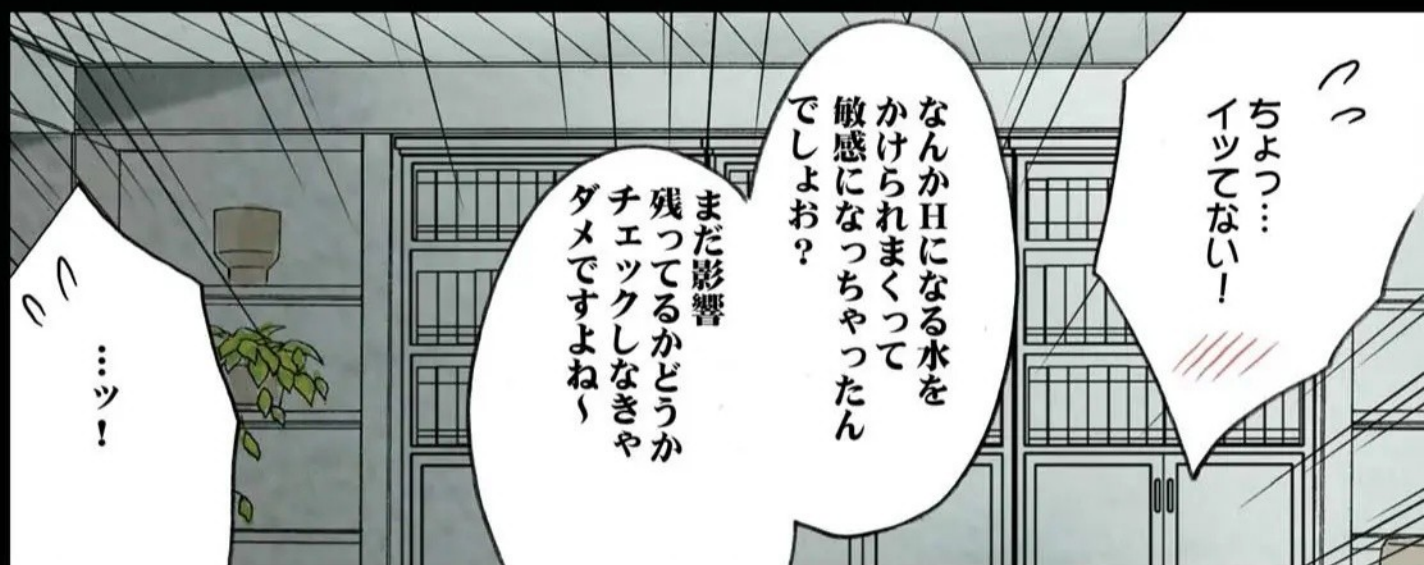
用意
いたしました

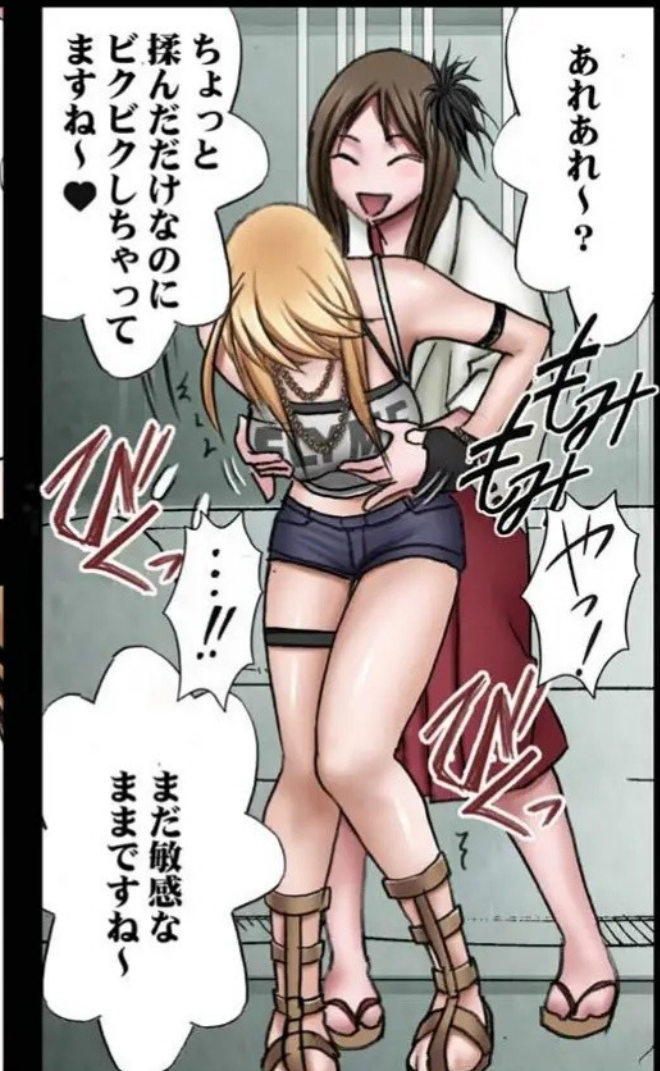
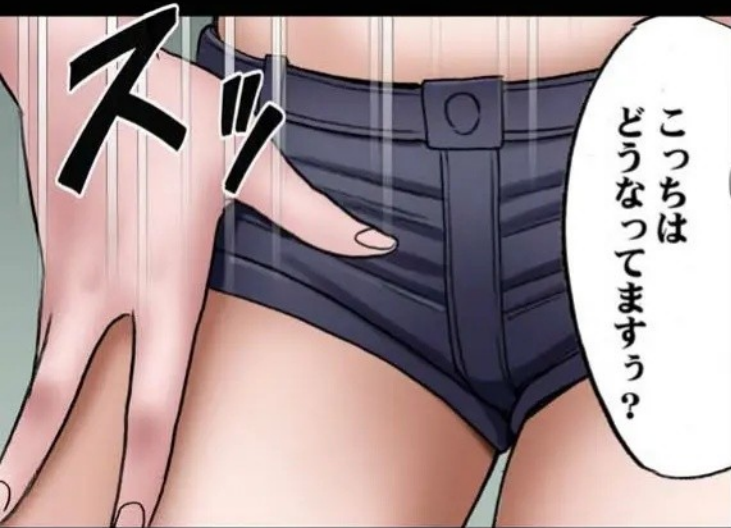
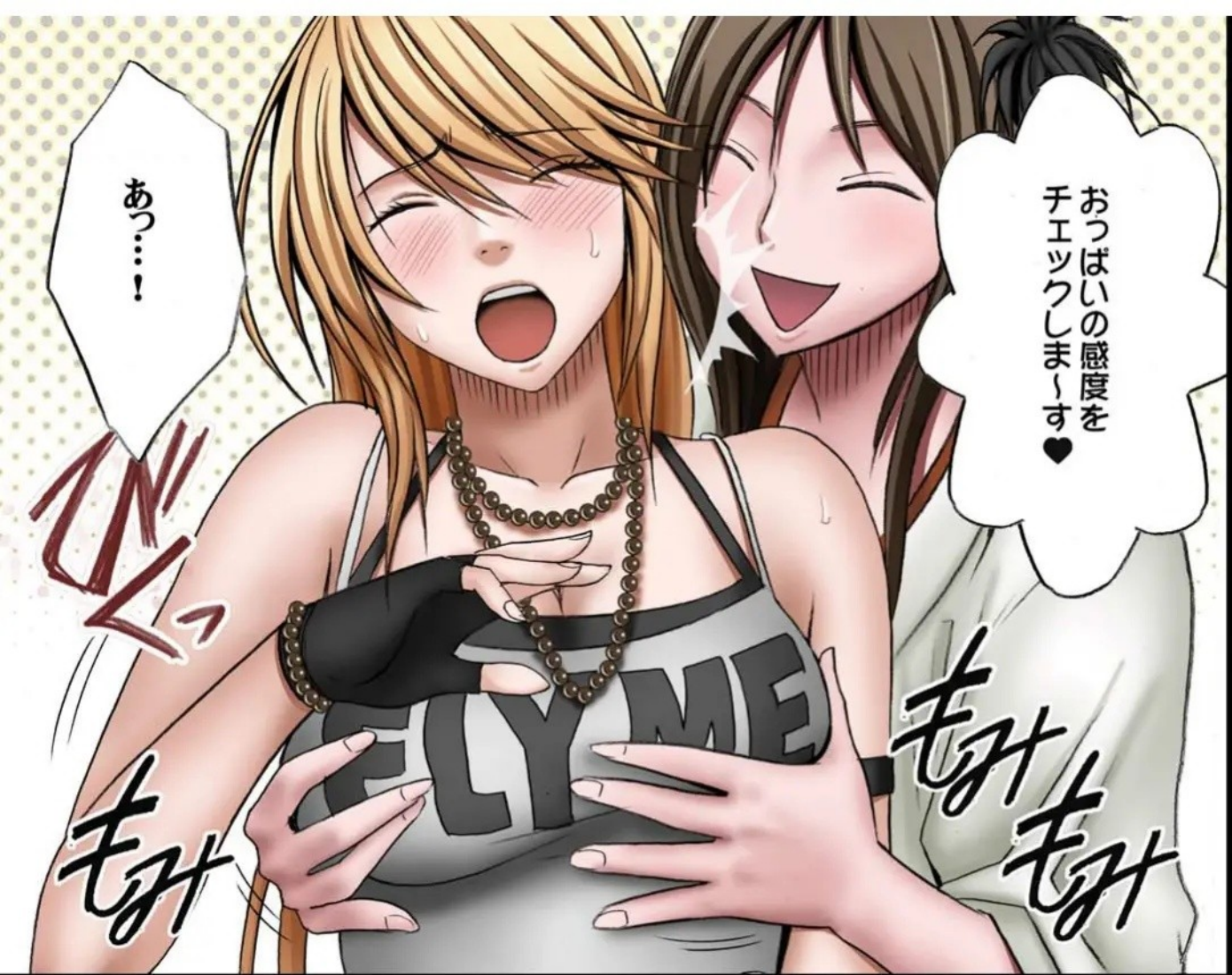


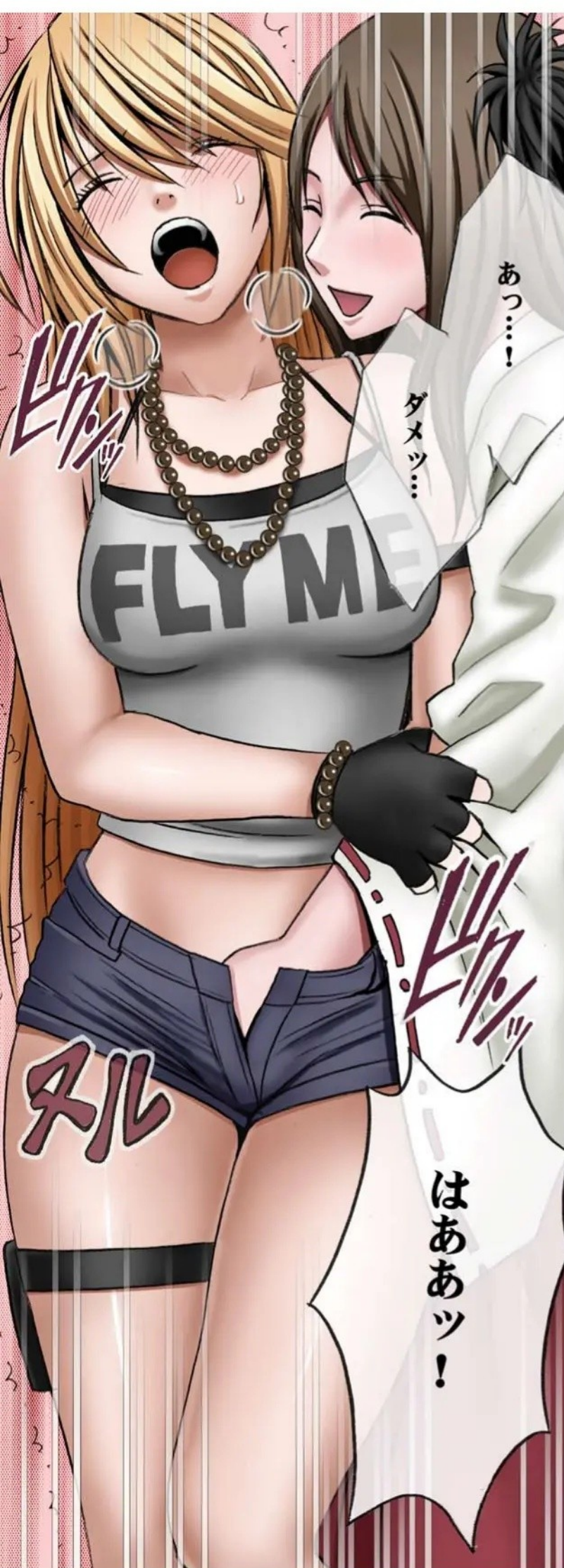
霊力は
カグヤ先輩ほどじゃ
ないですけど

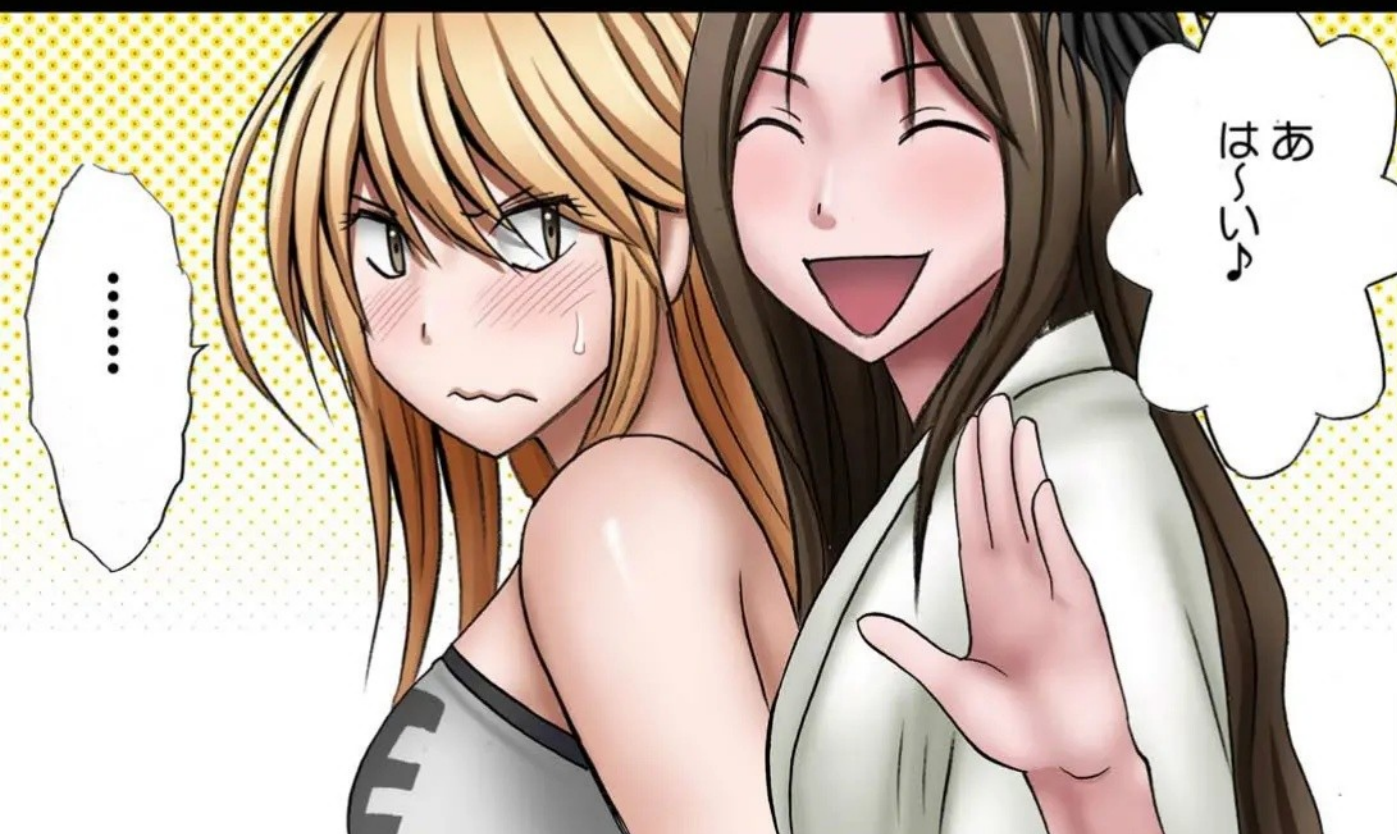
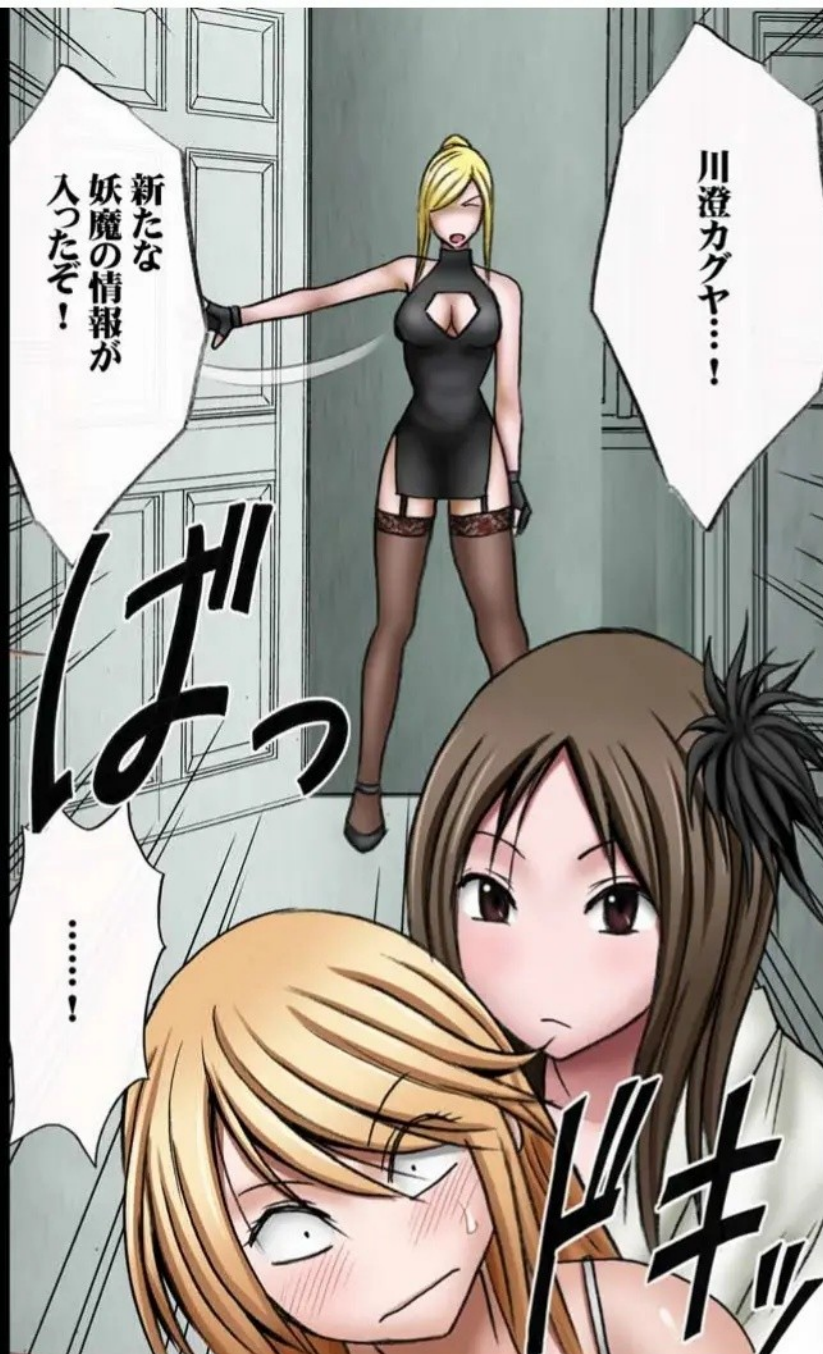
もともと軍の
特殊部隊出身で
身体能力は
すごいんですよ

そうだったのね…
タダものじゃないと
思ってたけど…









第3話

電車の中で
操られた人間に
押さえつけられ…

電車で
若い女性が
突如意識を失う事件が
多発している

中にはいまだに
意識が戻らない者も
いるらしい

原因は不明

おそらく
妖魔の仕業と踏んだ人
は調査に乗り出した

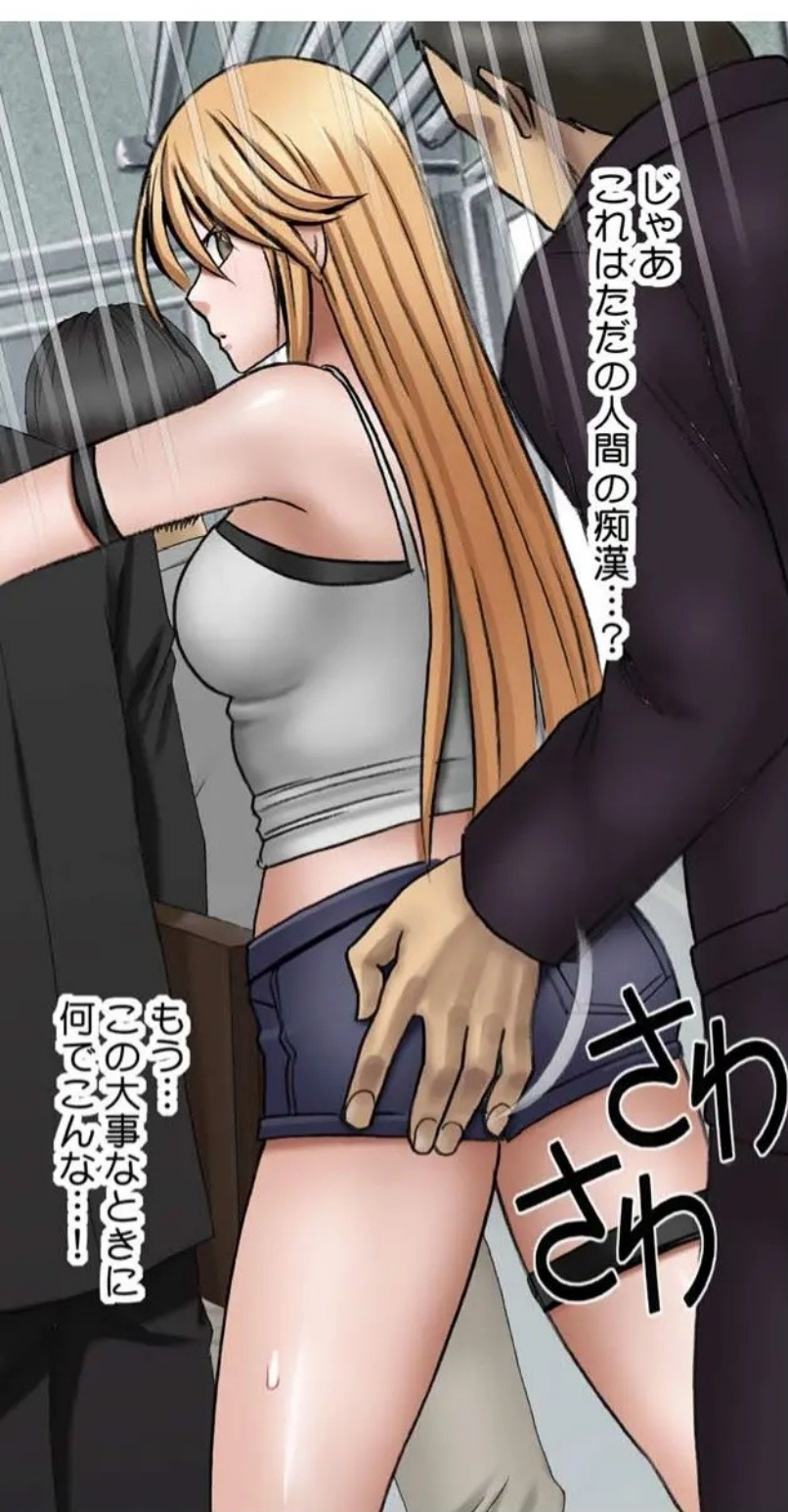
確実に妖気を感じる

この中に妖魔が！

前の妖魔が
言っていることが
本当なら

奴らは女を犯して
精気を吸い取る









動けない…!!

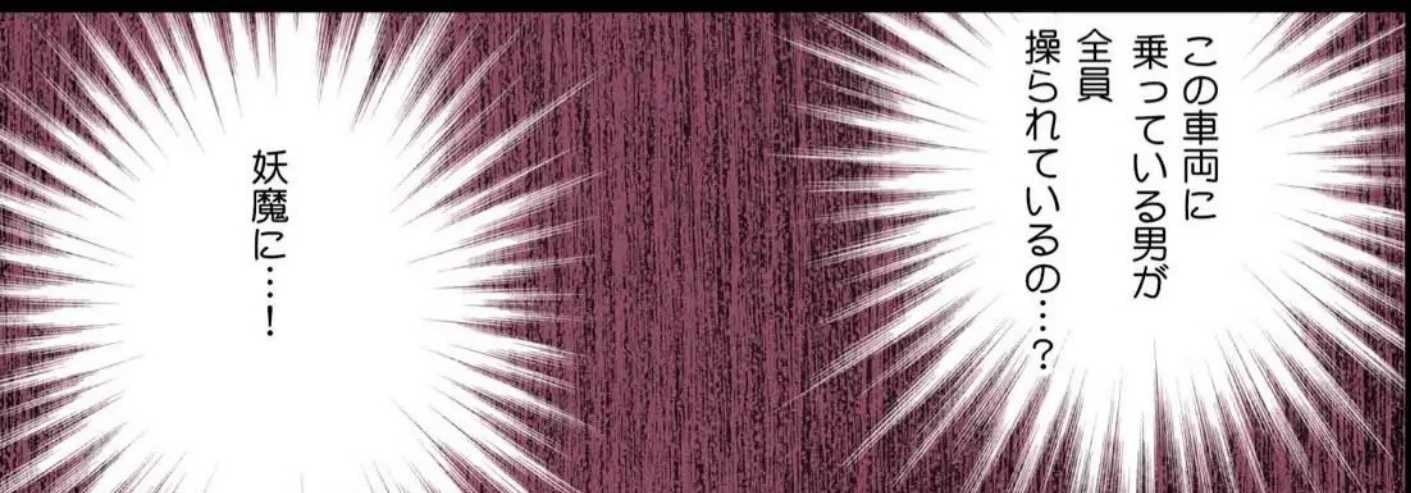
手足が完全に
押さえつけられて…

何でこんなに
統率が…!!



集団痴漢…?

いや…違う…!!



この車両に
乗っている男が
全員
操られているの…?

妖魔に…!!

操られているとはいえ
一般人に
手を出すわけには…！

זיך
זיך

קִיחַ
קִיחַ



軽く触れられるだけで
もう...!!

ブルブル



前の戦いで受けた
淫水の効果が
まだ残って...

スッ



こんな状態じゃなければ...
こんな奴らなんかは...!!

ビクッ

んッ!

ビクッ

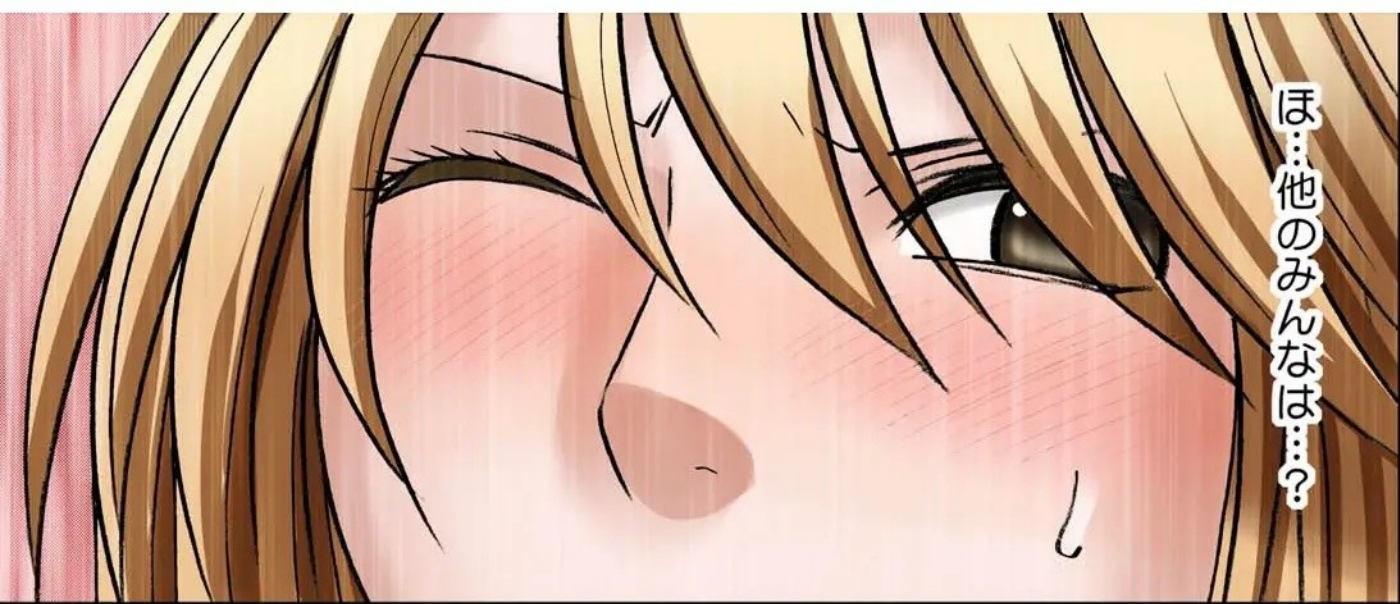


ダメだ…!



まだ
服の上から軽く
触られてるだけなのに…!





ほ…他のみんなは…？



クルッ！！

やつ…！

いやあつ！

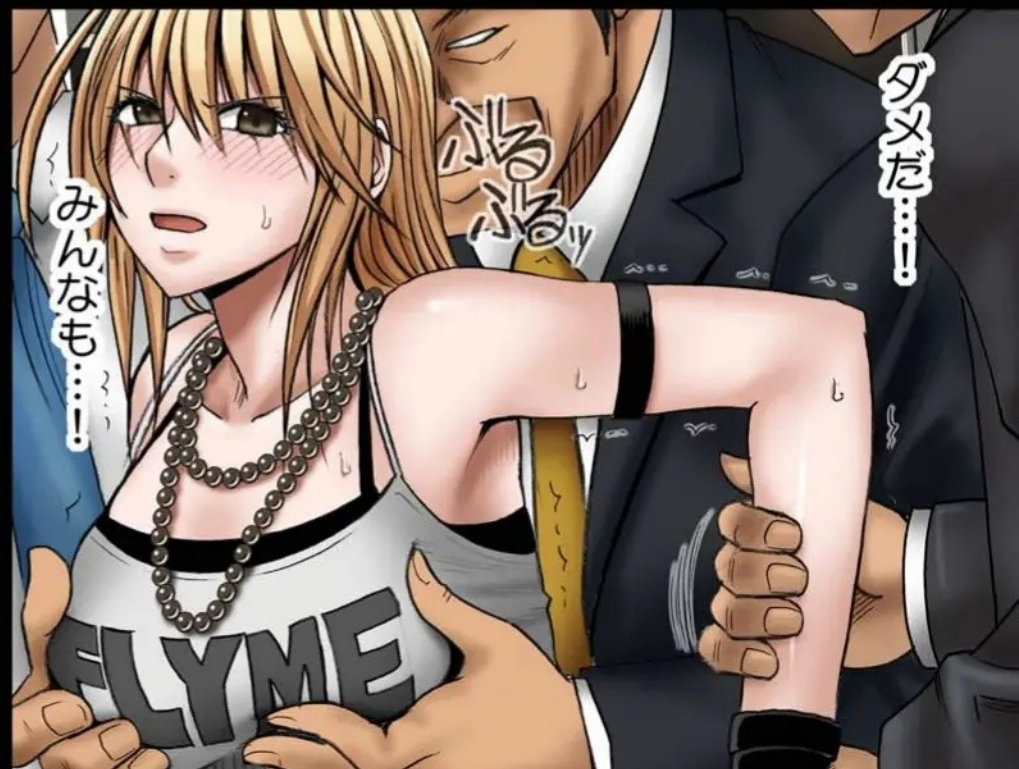
は…はなせ！

目を覚ませ
バカ！

バリ
バリ



一人で
何とかするしかない!



みんなも...!!

ふるふるッ

ダメだ...!!



やっ!



おっと

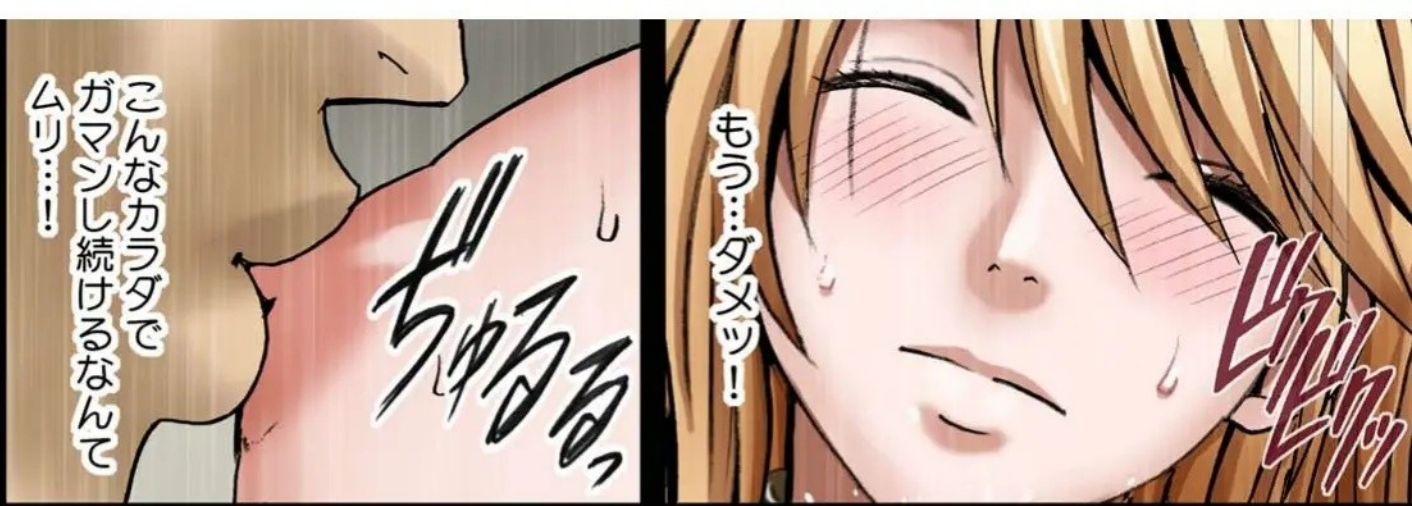
よそ見してる
場合じゃ
ないだろ?



んんッ!

ちゅっ

クッ
クッ



もう...ダメッ！

こんなカラダで
ガマシし続けるなんて
ムリ...！



頭が真っ白になる...！

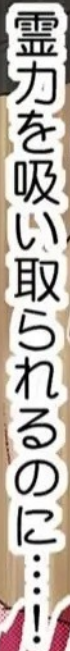
くあッ！

何とかしなきゃ
ならないのに...！

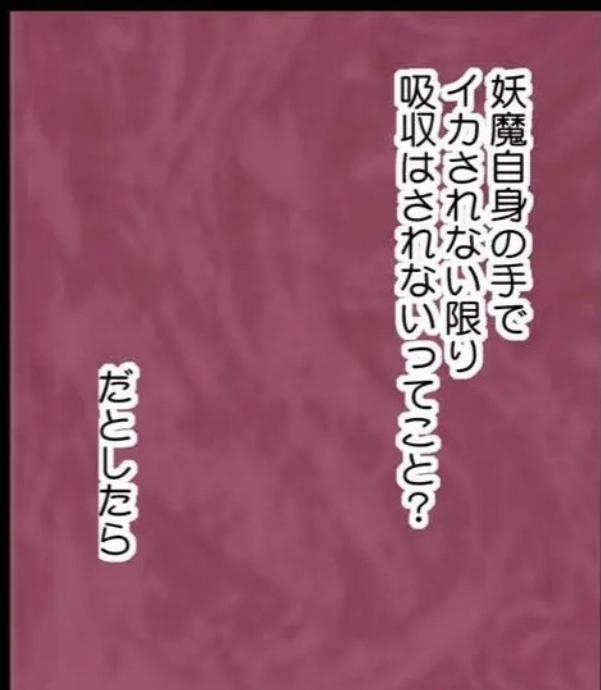
ちゅるる
ちゅるる

何も
考えられない！

グッ
グッ
グッ







妖魔自身の手で
イカされない限り
吸収はされないってこと？

だとしたら

妖魔はいつかは
精気を吸い取るために
じきじきに手をくだしに
くるはず

必ずこの中に
人間を操っている
妖魔本体が紛れ込んでる……！

気持ちよかったん
でしょ？

どれなの？

ねえ？
気持ちよかったん
でしょう？

妖魔は…一体…？

もう一回
指でイこうか

それとも
もつとイイこと
する？

ビクッ

ペロ
ペロ

くちゅくちゅ



また…イカされる！

もみ

もみ

んんッ！

ググ

ググ



ほら
全部脱いじゃい
ましようね

ハッ

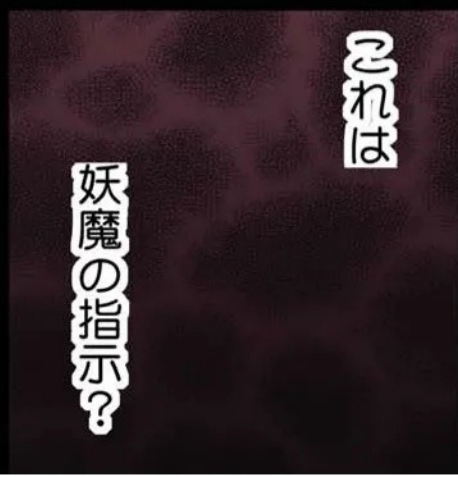
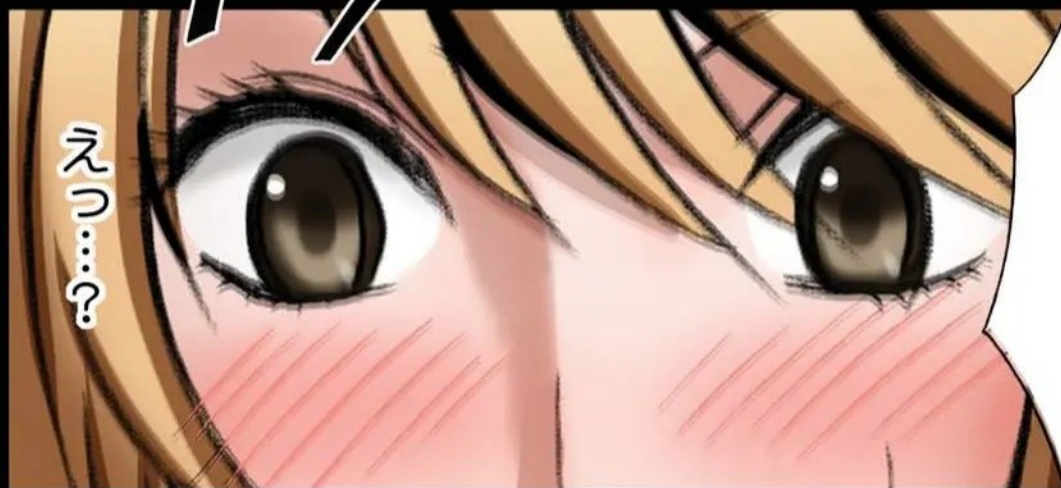


一度イッたんだから
もう恥ずかしくなんて
ないでしょう？



ダメッ！

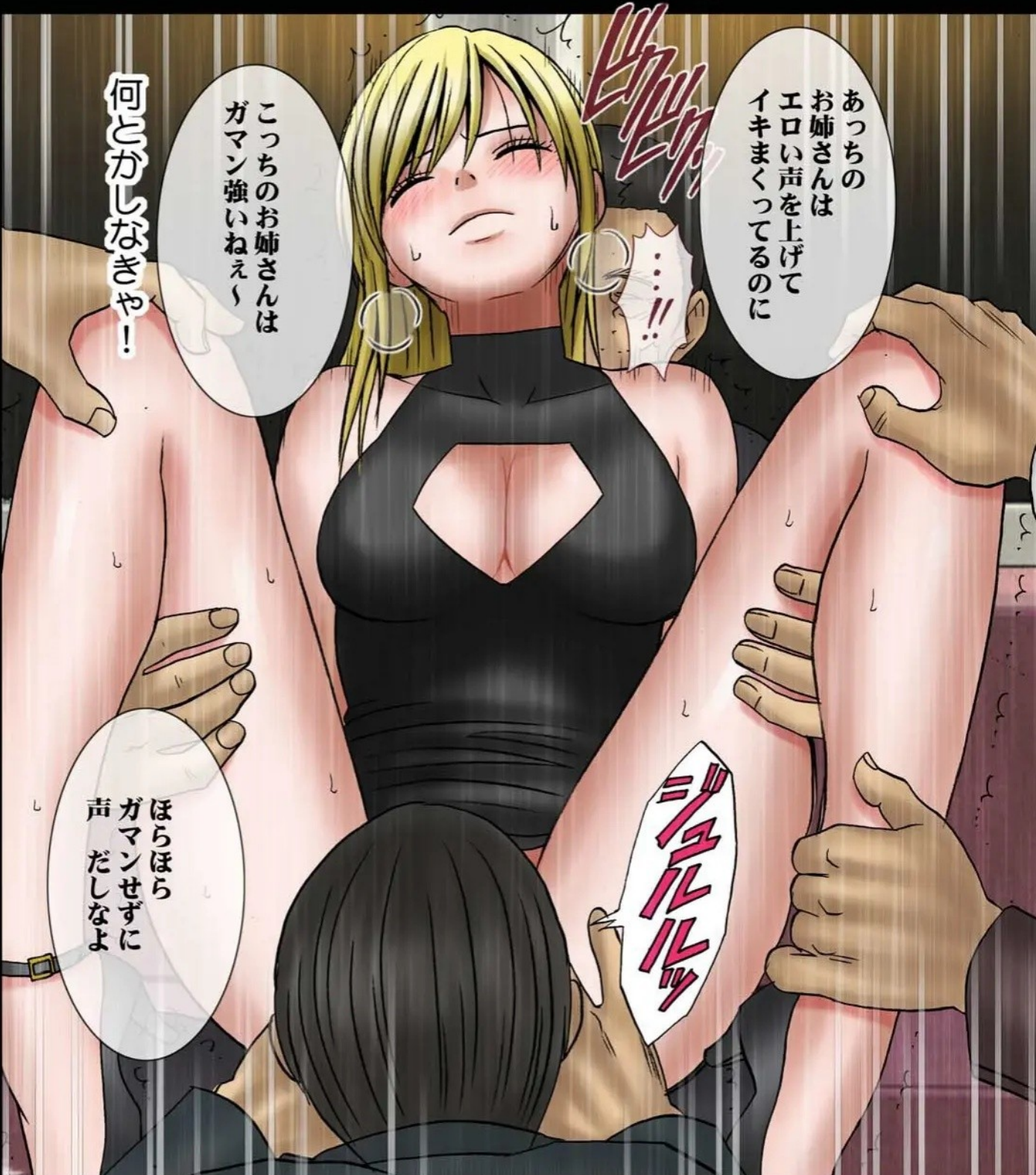
集中できない！







このままじゃダメ！



あつちの
お姉さんは
エロい声を上げて
イキまくってるのに

こっちのお姉さんは
ガマン強いねえ！

何とかしなきゃ！

ほらほら
ガマンせずに
声だしなよ

ジュエル





ダメッ！

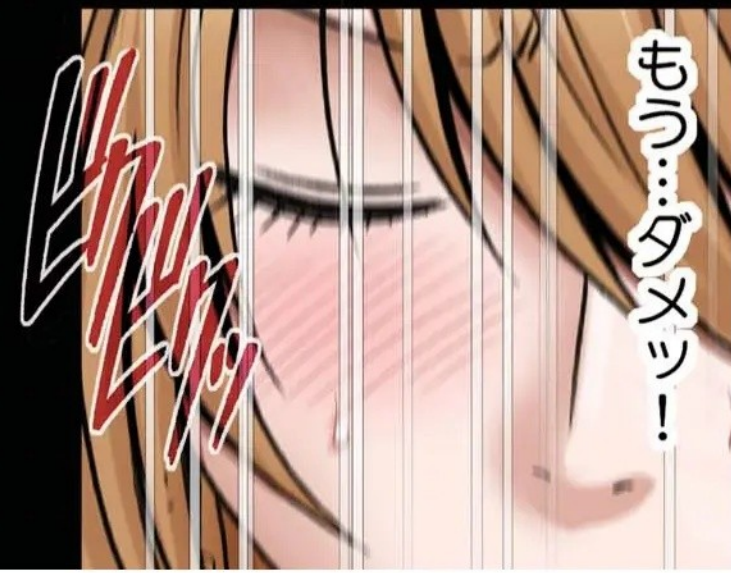
あッ！！

ビクビク

あッ！！

快感の高まりが
止められないッ！

ちゃっ
ちゃっ

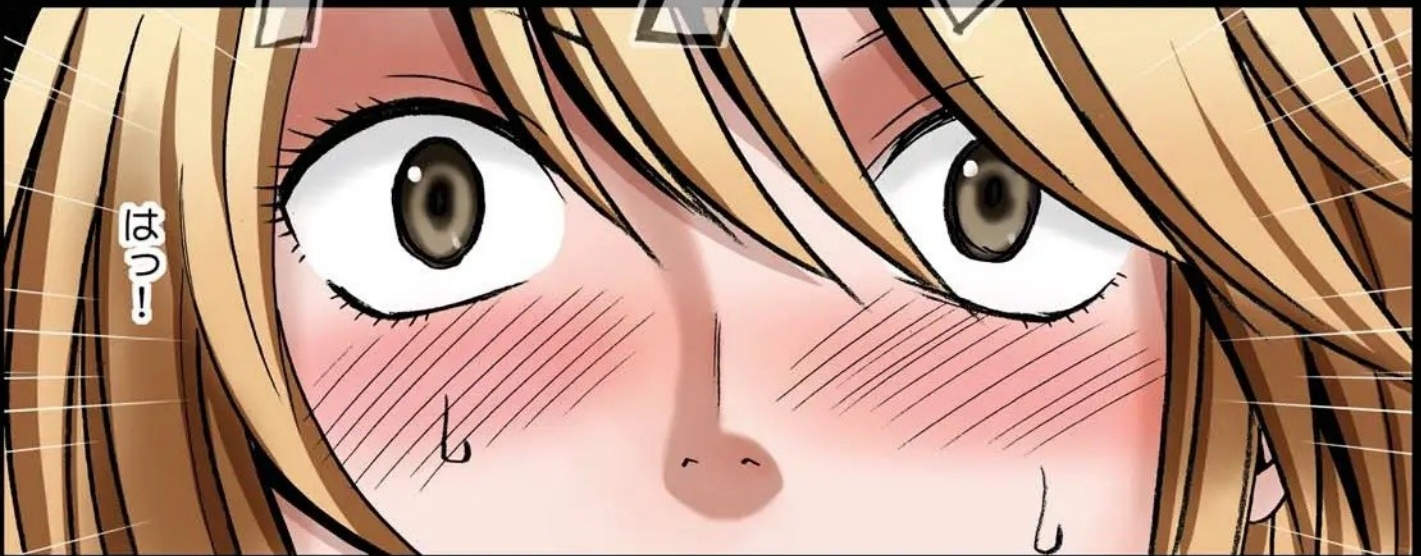
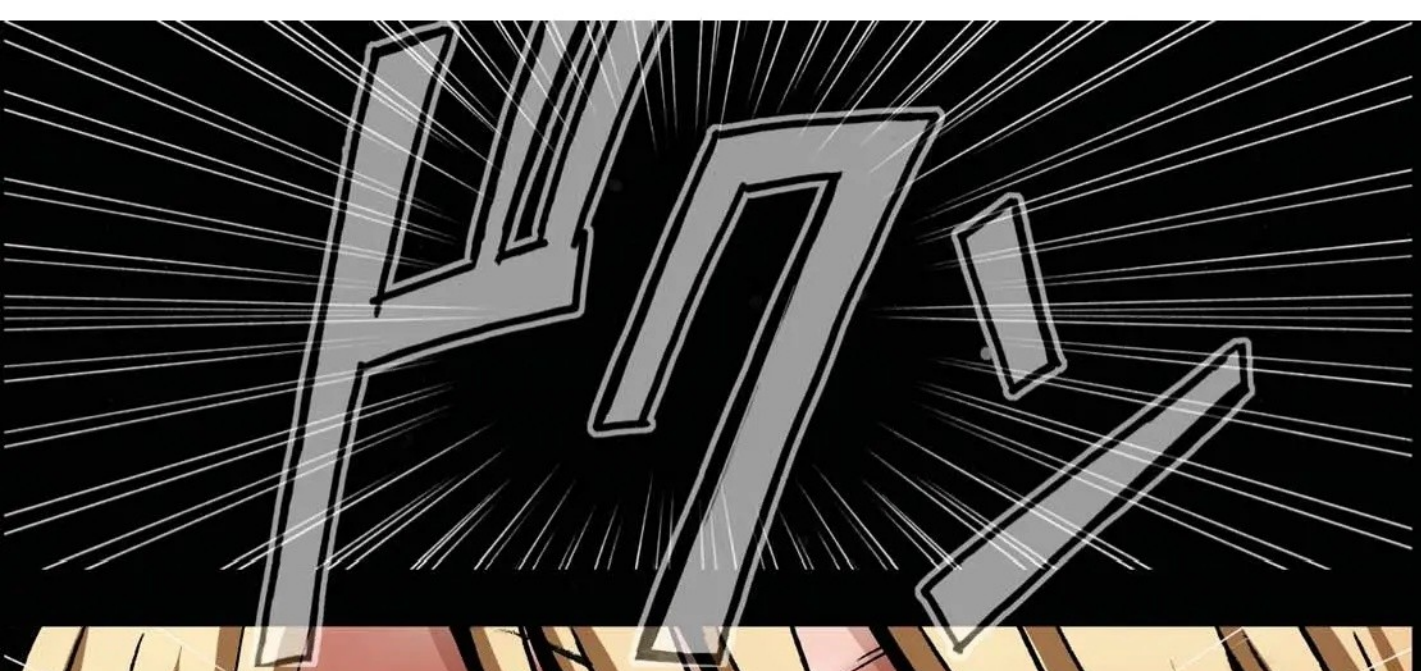


もう…ダメッ！



頭で
何かが弾けて…！

ヌル
ヌル

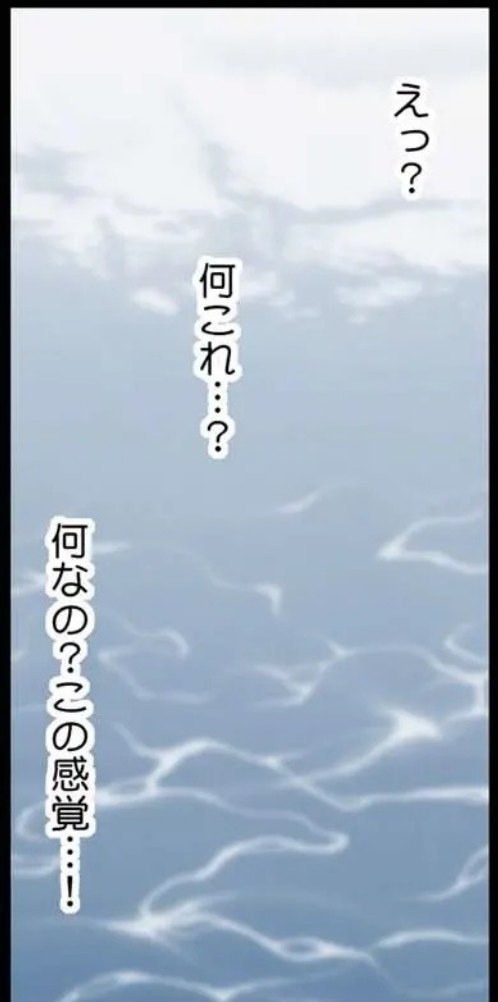


はっ!



すべてが研ぎ澄まされて...!!

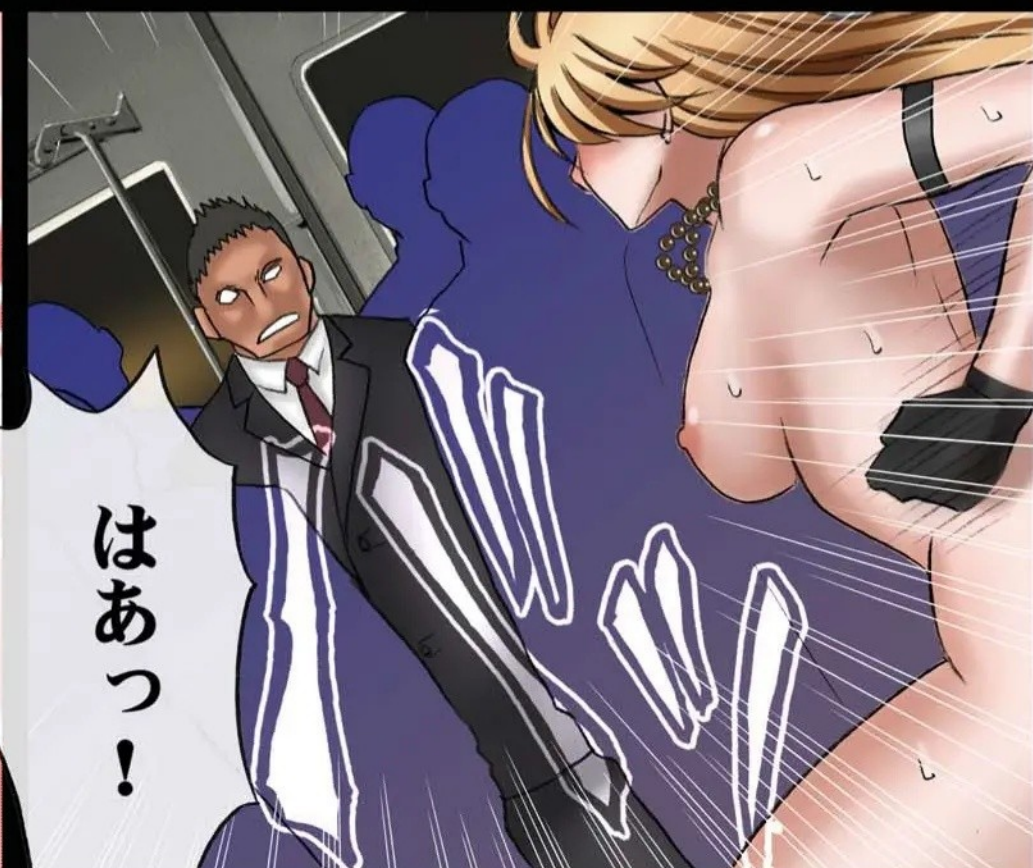
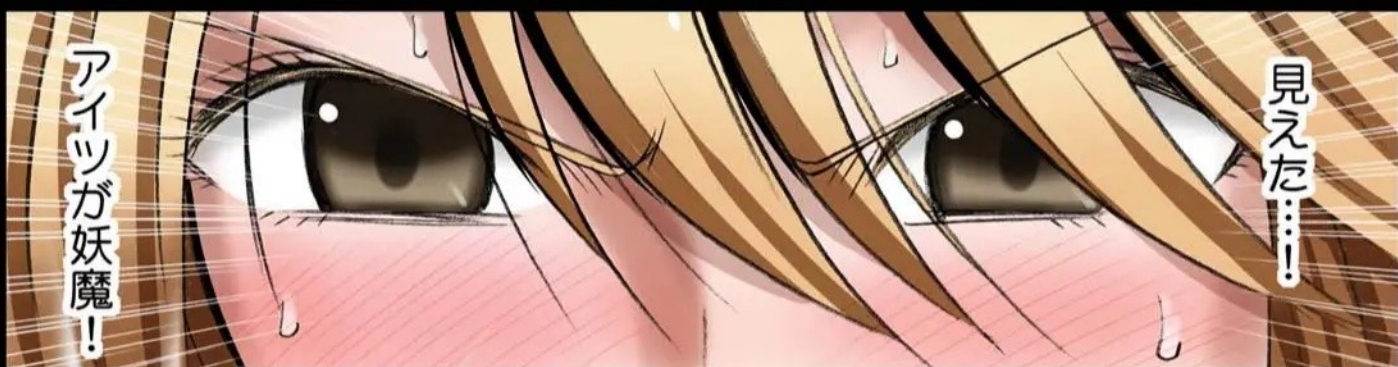
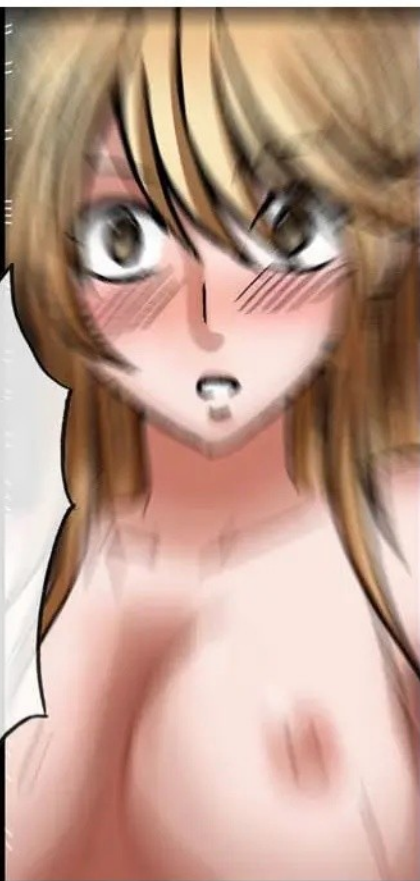
力がみなぎる...!!



えっ?

何これ...?

何なの?この感覚...!!



陽魂衝！

